

Honda Access

このたびは、Honda純正用品を
お買いあげいただき、ありがとうございます。
この取扱説明書は、
ご使用まえによくお読みいただき
大切に保管してください。

- 当商品はHonda車専用です。商品の適用車種はHonda販売店にご相談ください。適用車種以外の車に取り付けた場合、一切の責任は負えませんのでご承知おきください。
- Honda車への取り付け・配線には専門技術と経験が必要です。安全のためお買い上げのHonda販売店にご依頼ください。
- 商品を譲られる場合には、この取扱説明書も一緒に渡してください。

本機(ナビゲーション)を第三者に譲渡・転売、または破棄される場合には以下の内容をご留意の上、お客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、お願い申し上げます。

■お客様のプライバシー保護のために…

- ・ ハードディスクおよびメモリーに保存された個人情報を含む全てのデータ(登録リスト、メンテナンス情報など)を、本書に記載した内容に従って初期化(データの消去)するようにしてください。

■著作権保護のために…

- ・ ハードディスクに保存された画像データ／音楽データ等(その他録音データ)を、本書に記載した内容にしたがって初期化(データの消去)するようにしてください。本機に著作権があるデータを著作権者の同意なく、残存させたまま、譲渡(有償、及び無償)・転売いたしますと著作権法上、著作権者の権利を侵害します。

※弊社は、残存データの漏洩によるお客様の損害等に関しては一切責任を負いかねますので、上記の通りお客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、重ねてお願い申し上げます。

■個人情報のお取り扱いについて

- ・個人情報保護に関する弊社基本方針、及びナビゲーション地図に登録されております個人データのお取り扱いにつきましては弊社ホームページをご覧ください。

<http://www.honda.co.jp/ACCESS/news/0401/>

保証書やアフターサービスの詳細、その他のご不明な点は
お買い求めのHonda販売店へご相談ください。

本機はあくまで走行の参考として地図や音声で案内するのですが、道路の状況や本機の精度により、不適切な案内をする場合があります。ルート案内時でも、走行中は必ず道路標識など実際の交通規制(一方通行など)にしたがって走行してください。

事故防止のため、運転中は絶対に操作しないでください。

機能



- Bluetooth 対応装置には技術基準適合認定を受けた無線機器を搭載しております。

A11-0141005
 005WWCA0568

- 本製品には、以下の Mozilla Public License の適用を受けるソフトウェアが含まれています。

- 以下のオリジナルコードからの派生コード
js-1.5.tar.gz
- 上記オリジナルコードの初期開発者
Netscape Communications Corporation

お客様は、以下のホームページに掲載される Mozilla Public License の条件に従い、上記ソフトウェアのソースコードを入手する権利があります。上記ソフトウェアのソースコードの入手方法については、以下のホームページをご覧ください。

<http://panasonic.jp/car/cus/info/license/Mozilla/>

なお、ソースコードの中身についてのご質問にはお答えできませんので、あらかじめご了承ください。

また、上記以外の当社が所有権を有するソフトウェアモジュールについては、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

ホームページに掲載されるファイル情報

・修正内容(2011年6月20日公開)	diff.pdf
・修正されたソースコード(2011年6月20日公開)	JS.zip
・Mozilla Public License(2011年6月20日公開)	Mozilla Public License.pdf

4 本書の見かた

本書では、用途別に下記のマークを使用しています。

以下に各マークの意味を説明していますので、本書をお読みになる前によく理解しておいてください。

 アドバイス	<ul style="list-style-type: none">お車や本機のために守っていただきたいこと。 守らないとお車や本機の破損につながるおそれや正規性能を確保できないことがあります。本機を使ううえで知っておいていただきたいこと。 知っておくと本機を上手に使うことができ便利です。
A-1	アルファベットは章、数字は章のページを表します。
 お願い	お車のために守っていただきたいことを表しています。
	参照していただきたい本文のタイトル名やページ番号を表します。
	本体のパネル部のボタンを表します。
	タッチパネル部のボタンを表します。
	画面上でタッチパネル操作を表します。
:	操作を行なった結果を説明します。
	操作手順が次のステップで分かれるときの案内をします。

使用上の注意事項等

- デュアルサイズHDDナビコンポの操作
 - 運転中の操作は避け、停車して行なってください。
 - 運転中に画面を注視しないでください。
- 本機の故障、誤動作または不具合によりハードディスクに記録できなかったデータ(録音内容など)、消失したデータ、ハードディスク内の保存データについては補償できません。

本書の見かた	4
目 次	5

はじめに**A-1**

安全上のご注意	A-2
お願い	A-4
主な特長	A-9
オーディオ／テレビ／ラジオの設定について	A-17
ディスクの取り扱いかた	A-18
SDカードの取り扱いかた	A-20
SDカードについて	A-21
GPS衛星の電波受信と測位	A-23
GPS(Global Positioning System)について	A-23
受信しにくい場所について	A-23
受信するまでの時間について	A-23
自律航法とマップマッチング	A-24
現在地の誤差について	A-24
自律航法＆マップマッチング	A-24
学習度と現在地	A-24
音声案内について	A-25
パソコン連携(いつもNAVI)	A-27
パソコン連携(いつもNAVI)の流れについて	A-27
会員ログインについて	A-28
会員登録ID・パスワードを忘れた場合	A-28
その他・お問い合わせ	A-28

おぼえておきたい基本操作**B-1**

各部の名称とはたらき	B-2
パネル部CLOSE状態	B-2
パネル部OPEN状態	B-2
ボタンの照明について	B-3
ディスプレイ部の角度を調整する	B-4
ディスクを入れる／取り出す	B-5
SDカードを入れる／取り出す	B-6
地図を表示する	B-7
現在地表示について	B-7
地図画面の見かた	B-8
タッチパネル部について	B-8
画面の表示内容について	B-8
現在地を表示する	B-10
表示された現在地が実際の現在地と違う場合	B-10
地図表示(方位)を切り替える	B-11
地図スクロール(地図を動かす)	B-12
地図スクロール	B-12
微調整をする	B-14
地図を拡大／縮小する	B-15

NAVI MENU画面について	B-16
メニュー画面を表示させる	B-16
各メニュー項目について	B-16
設定を終える	B-17
ページの戻し／送りについて	B-17
Quick機能について	B-18
道路切替ボタンの機能について	B-18
Quick MENUを表示する	B-20
Quick MENUの設定をする	B-21
自宅を登録する	B-22
地点を登録する	B-25
登録地点について	B-26
クリック ルート探索をする	B-27
現在地から目的地までのルートを探索する	B-27
現在地から自宅までのルートを探索する	B-28
目的地を設定してルート探索をする	B-29
右画面に地図／情報を表示する	B-30
右画面の方位／縮尺スケールを変える	B-30
全画面表示に戻す	B-32
文字／数字の入力方法について	B-33
ひらがな／カタカナ／漢字／英数を入力する	B-33
数字を入力する	B-34
文字／数字を訂正する	B-35

目的地を探す**C-1**

施設の名称(名称50音)で地点を探す	C-2
順番を並び替えて表示する	C-4
電話番号で地点を探す	C-6
住所で地点を探す	C-8
施設のジャンルから地点を探す	C-11
道路名から地点を探す	C-15
自宅周辺の地図を表示する	C-16
周辺にある施設から地点を探す	C-17
表示できる施設	C-20
登録地点で地点を探す	C-23
登録地点の並び替えをする	C-24
目的地履歴の中から地点を探す	C-25
目的地履歴を削除する	C-26
地名から地点を探す [50音]	C-28
郵便番号で地点を探す	C-29
緯度／経度で地点を探す	C-30
マップコードで地点を探す	C-31
地図から地点を探す	C-32
SDカードで地点を探す	C-33

ルート探索をする**D-1**

ルート設定について	D-2
ルート探索について	D-3
細街路探索について	D-4
ルート設定の流れ	D-4
通常(簡易設定)	D-4
詳細設定	D-4
1 ルート探索をする	D-6
複数ルートを探索する	D-9
ルート案内をストップ／スタートする	D-10
ルートを変更する	D-11
出発地／目的地の変更	D-11
目的地の追加	D-13
経由地の追加	D-14
経由地の変更／削除	D-16
経由地／目的地など地点の入れ替え	D-16
経由地を使って上手にルートを作る	D-17
探索条件の変更	D-18
迂回探索をする	D-19
現在の全ルートを表示する	D-20
デモ走行をする	D-21
経由地をスキップする	D-22
保存したルートの呼び出しをする	D-23
保存したルートの削除をする	D-24
現在のルートを保存する	D-25
現在のルートを削除する	D-26
渋滞予測ルート探索をする	D-27
SDカードからルート探索をする	D-29
再探索をする	D-31
渋滞地点を確認する	D-32
ルート探索条件の設定をする	D-33

情報を見る**E-1**

渋滞予測地図を見る	E-2
ETC情報を見る	E-4
交通情報(VICS情報)／一般情報の受信について	E-6
交通情報(VICS情報)について	E-8
VICS情報の更新に伴う表示変更について	E-8
交通情報(VICS情報)とは	E-8
表示について	E-9
マーク一覧表	E-11
VICS放送局	E-11
一般情報について	E-12
一般情報とは	E-12
表示について	E-12

一般情報の内容(番組)について	E-12
一般情報放送局	E-12
交通情報／一般情報の操作の流れ	E-13
情報の消去について	E-14
受信する情報を選ぶ	E-15
交通情報(文字情報)／一般情報を見る	E-16
交通情報(图形情報)を見る	E-18
緊急情報を見る	E-19
緊急情報について	E-20
交通情報／一般情報を選局する	E-21
自動選局	E-21
自動選局を止める	E-22
手動選局	E-23
エリア選局	E-24
プリセット(保存)する	E-25
プリセット(保存)呼び出しをする	E-26
プリセット(保存)の上書きをする	E-27
VICS設定をする	E-28
ビーコンの地図画面について	E-29
ビーコンの情報画面を見る	E-30
緊急情報について	E-31
エコドライブ情報の設定をする	E-32
本体情報を見る	E-37

ナビゲーションの設定**F-1**

地図画面の設定をする	F-2
3Dビューの角度調整をする	F-3
地図の色を設定する	F-5
表示項目の設定をする	F-6
案内画面の設定をする	F-8
ランドマークを表示する	F-20
自車マークの種類を設定する	F-23
現在地(自車)の位置を設定する	F-24
VICS表示の設定をする	F-26
VICS表示の設定を止める	F-27
レベル3表示時の“矢印表示の点滅する／しない”について	F-27
ビーコン車種設定について	F-28
ビーコンの割込み表示を設定する	F-29
音声案内の音量調整／詳細設定をする	F-30
平均速度を設定する	F-33
登録地点の編集	F-34
登録地点の順番を並び替える	F-39
自宅／登録地点の地図を呼び出す	F-41
自宅／登録地点を削除する	F-43
SDカードから地点を登録する	F-45
軌跡を使う	F-47

各種設定をする**G-1**

携帯電話について	G-2
オプションボタンの設定をする	G-3
メンテナンス情報を設定する	G-4
設定したメンテナンス情報のお知らせを 止める／消去する	G-7
ETCについて	G-8
ETCを利用する	G-9
ETCの基本操作	G-9
料金所通過表示について	G-9
予告案内／警告表示について	G-10
ETCの機能を設定する	G-11
リアカメラ映像を設定する	G-14
リアカメラ映像を表示する	G-14
ビューの切り替えをする	G-14
リアカメラガイドを表示する	G-15
警告文の位置を下げる	G-16
リアカメラガイドの見かた	G-17
カメラの映像について	G-18
リアカメラの次回表示ビュー設定 (リアワイドカメラ接続時のみ)	G-19
フロントカメラ／コーナーカメラ映像を 表示する	G-20
フロントカメラ／コーナーカメラの 設定をする	G-20
フロントカメラ／コーナーカメラ映像を 表示する	G-22
リアカメラとコーナーカメラを組み合わせて 使用する	G-22
フロントカメラ／コーナーカメラ地点を 登録する	G-23
コーナーカメラガイドを表示する	G-24
コーナーカメラガイドの見かた	G-24
カメラの映像について	G-25
キー操作音の設定をする	G-26
データを初期化(消去)する	G-27

その他**H-1**

映像の調整のしかた	H-2
初期値に戻す	H-3
音声はそのままで、画面を消す	H-4
ナビゲーション画面から他のモードに替える	H-5
ナビゲーション画面を表示したままで	
音楽を聞く	H-6
リモコンを使う	H-7
安全上のご注意	H-7
使用上のご注意	H-8

リモコンに電池を入れる	H-9
リモコンをホルダーから取りはずす	H-10
リモコンをホルダーに収める	H-10
リモコンの主な便利機能	H-11
各部の名称とはたらき	H-12
リモコンの10キーで文字を入力する	H-20
10キーでの文字入力のしかた	H-21
ルート案内時の注意点	H-22
出発地・経由地・目的地の設定について	H-26
経由地、目的地の設定の注意点	H-26
地図ソフトについて	H-28
市街地図(10m/25m/50m/100m スケール)の収録エリア	H-32
地図に表示される記号	H-36
VICSについてのお問い合わせ	H-38
VICSの概要	H-38
VICS情報有料放送サービス契約約款	H-40
VICS削除リンクに関する告知	H-41
故障かな?と思ったら	H-42
こんなメッセージが出たときは	H-47
主な仕様	H-49
初期設定一覧	H-50
ナビゲーション	H-50
画面調整	H-51
別売品(システムアップ)について	H-52
構成内容	H-54
保証／アフターサービスについて	H-56

索引**I-1**

索引	I-2
----	-----

※本説明書の画像やイラストは操作を円滑にするためのイメージであり、撮影・印刷条件等により実物(実機)と印象が相違する場合がありますのでご了承ください。

A

はじめに

安全上のご注意	A-2
お願い	A-4
主な特長	A-9
オーディオ／テレビ／ラジオの設定について	A-17
ディスクの取り扱いかた	A-18
SDカードの取り扱いかた	A-20
SDカードについて	A-21
GPS衛星の電波受信と測位	A-23
GPS(Global Positioning System)について	A-23
受信しにくい場所について	A-23
受信するまでの時間について	A-23
自律航法とマップマッチング	A-24
現在地の誤差について	A-24
自律航法＆マップマッチング	A-24
学習度と現在地	A-24
音声案内について	A-25
パソコン連携(いつもNAVI)	A-27
パソコン連携(いつもNAVI)の流れについて	A-27
会員ログインについて	A-28
会員登録ID・パスワードを忘れた場合	A-28
その他・お問い合わせ	A-28

A-2 安全上のご注意

●安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりとお読みください。

注意事項は、それを守らなかった場合に起こりうる危害や損害の程度によって、2つに区分しています。

△警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

△注意：人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容。

また、注意内容の性質を絵表示で示しています。

△：△は注意を促す記号です。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は一般的な注意)が描いてあります。

○：○は行為を禁止する記号です。図の中に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描いてあるものもあります。

!：●は行為を指示する記号です。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は一般的な指示)が描いてあります。

△ 警告

△ テレビやDVDビデオなどを見たり、ナビゲーションの操作をするときに、車庫や屋内などの換気の悪いところでエンジンをかけたままにしない。
車内や屋内などに排気ガスが充満し、一酸化炭素中毒のおそれがあります。



! 実際の交通規則に従って走行する。

ナビゲーションによるルート計算は、道路の状況やナビゲーションシステムの精度により不適切な案内をすることがあります。必ず実際の交通規則、道路標識に従って走行してください。



△ 当商品を分解したり改造しない。
故障の原因となることがあります。

分解禁止



△ フロントカメラ／コーナーカメラはあくまで運転の補助手段として使用する。
直接目視による安全確認をしながら運転してください。

△ リアカメラシステムは、障害物等の確認のための補助手段として使用する。
後退時には、直接後方の安全確認をしながら運転してください。

△ 事故防止のため、リモコンの電池は幼児の手の届かないところに保管する。
万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
そのままにしておくと、生命に危険を及ぼす場合があります。



△ ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない。
誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

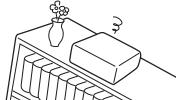
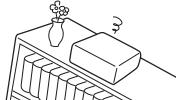
△ 故障や異常な状態のまま使用しない。

画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因になります。

! 警告

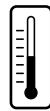
- カード類は、乳幼児の手の届くところに置かない。**
誤って飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。
- 機器内部に、水や異物を入れない。**
金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電、故障の原因になります。飲み物などがかからないようにご注意ください。

! 注意

- 安全のため運転者は、走行中に操作しない。**
また、走行中に画面を見るときは、必要最小限にする。
前方不注意などにより、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車して使用する。**
テレビやビデオは安全のため走行中は表示されません。
- 本機を車載用以外としては使用しない。**
感電やけがの原因となることがあります。
- 運転中の音量は車外の音が聞こえる程度で使用する。**
車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- 液晶パネルを強く押したり、強い衝撃を与えない。**
液晶パネルのガラスが割れて、けがの原因となることがあります。
- 取り付け(取り外し)や配線は、販売店に依頼する。**
誤った取り付けや配線をした場合、車に支障をきたすことがありますので、お買い上げのHonda販売店にご依頼ください。
- 長時間で使用にならないときは、ディスク／SDカード／miniB-CASカードを取り出す。**
長時間、本機内に入れておくと、高温等のためにディスク／SDカード／miniB-CASカードを傷める原因となることがあります。

温度について

- 極端に寒いときや、極端に暑いときは、正常に動作しないことがあります。常温に戻ると正常に動作します。
- 長時間、車を屋外に駐車する場合、真夏や真冬は車内の温度が極端に変化していますので、換気したり暖房したりして車内を適温にしてご使用ください。
- 夏期は車内温度が高くなることがありますので、車内の温度を下げてからお使いください。



結露について

雨の日、または湿度が非常に高いとき、または寒いときヒーターをつけた直後など本機内部の光学系レンズに露(水滴)が生じることがあります。このままでレーザーによる読み取りができず正常に動作しないことがあります。周囲の状況にもよりますが、ディスクを取り出して放置しておけば、約1時間ほどで結露が取り除かれ正常に動作するようになります。何時間たっても正常にもどらない場合は、Honda販売店にご相談ください。

振動について

本機に振動が加わると、まれに音飛びなどの症状がみられることがあります。
振動が止むと通常の動作に戻ります。

ディスプレイについて

- 液晶の特性上、直射日光が反射して画面が見づらくなることがあります。
- ディスプレイの同じ場所に、赤い点や青い点などが現われる場合がありますが、これは液晶ディスプレイの性質上起こるものであり、故障ではありません。
- 液晶パネル面にフィルムを貼り付けた場合、貼り付け不良、または、それがありますと正常に動作しないことがあります。

地図画面の表示について

- 最も詳細な地図の縮尺が地域によって異なるため、地図画面を移動して縮尺の異なる地域になると、地図が切れたような画面になります。そのまま地図を移動し続けると、通常の地図画面に戻り、縮尺は表示中の地域の最も詳細なものに変わります。
 - 走行中は、細街路を表示しません。ただし、下記の画面では、走行中も細街路を表示します。
 - ・車のシフトレバーをリバースに入れているときの現在地表示画面
 - ・細街路を走行しているときの現在地表示画面
- ※細街路によっては、走行中も消えないものもあります。
- ※細街路とは道幅5.5m未満の道路のことをいいます。

車のエンジン停止中／アイドリング中でのご使用について

- エンジン停止中やアイドリング中に大きな音量で長時間ご使用になると、バッテリーが過放電となり、エンジンの始動ができなくなるおそれがあります。
- エンジン停止中に本機を使用しているとき、エンジンを始動すると、電圧降下により、初期の画面に戻ることがあります。



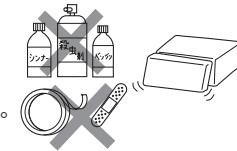
お手入れについて

<ディスプレイ部の清掃>

- 画面の汚れは、プラスチックレンズ用メガネふきなどの柔らかく乾いた布で軽く拭きとってください。手で押したり、かたい布などでこすると表面に傷がつくことがあります。
- 画面は指紋やホコリが付きやすいので、時々清掃してください。清掃するときは、電源を切り乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。(汚れをおとす場合は、中性洗剤に浸しよく絞った布か、エタノールをしみ込ませた柔らかい布でふいてください。)ぬれたぞうきん・有機溶剤(ベンジン、シンナーなど)・酸・アルカリ類は使用しないでください。変質する原因となります。また硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。

<本機の清掃>

- パネル面、その他の付属品にベンジン、シンナー、殺虫剤などの揮発性の薬品をかけると、ケースや塗装が変質しますので使用しないでください。またセロハンテープやばんそうこうなどの粘着性のものを貼つたりすることも、キャビネットを汚したり傷めますので避けてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。



GPSアンテナについて

- GPSアンテナに色を塗らないでください。受信感度が低下したり、GPS衛星の電波を受信できなくなることがあります。
- GPSアンテナの上に物を置いたり、布等をかぶせたりしないでください。GPS衛星の電波を受信できなくなります。



フィルムアンテナについて

- 一度貼り付けたフィルムアンテナは、はがさないようにしてください。機能が損なわれます。
- フロントウィンドウ(車内側)のお手入れの際、フィルムアンテナは柔らかい布で優しく拭き取るようにしてください。(汚れをおとす場合は、中性洗剤に浸しよく絞った布でふいてください。)有機溶剤(アルコール、ベンジン、シンナーなど)は使用しないでください。
- フィルムアンテナ貼り付け後しばらくたってから稀に気泡が発生することがありますが、油膜が完全に除去されている場合は数日で消えます。

免責事項について

- 火災、地震、水害、落雷、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により故障または損傷した場合には有料修理となります。
- 本機の使用または使用不能から生じる損害(事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など)につきましては、弊社は一切その責任を負いかねます。
- 本機を業務用の車両(タクシー・トラック・バス・商用車など)に使用した場合、保証の対象にはなりません。
- 他人に譲渡または処分などされる際は、本機に入力した個人情報(登録地点の住所や電話番号など)の取り扱い、管理(消去など)は、必ずお客様の責任において消去してください。
【】「データを初期化(消去)する」G-27
- 本機の使用を誤ったとき、静電気・電気的なノイズの影響を受けたとき、ハードディスク内のデータや基本プログラムなどが消失・変化した場合、また修理によって登録地点など、登録した内容が消去された場合は補償できません。

画面の曇りについて

雨の日、または湿度が異常に高いとき、エアコンの冷風が直接ナビゲーション本体に当たると、まれに表示に結露による曇りが発生する場合があります。そのままご使用いただくと1時間程度で結露が取り除かれ、曇りはなくなります。

その他について

- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用してください。規定容量以上のヒューズや、ヒューズ以外のものを使用すると、故障の原因となります。
- ディスク／SDカード挿入口や操作パネル開閉部にコインなどの異物を差し込んでください。また、ゴミ等異物を落とさないようにご注意ください。故障の原因となることがあります。
- 画面が映らない、音が出ない、変な臭いがするなどの状態で使用しないでください。そのまま使い続けると、故障したり煙が出てくるなど、修理不能になるおそれがあります。このようなときはただちに使用を止め、お買い求めのHonda販売店にご相談ください。
- 安全運転への配慮から、走行中に操作できない機能があります。走行中に表示されるメニューは、機能が制限されたものとなります。操作は、安全な場所に停車して行ってください。
- 停車して操作するときは、停車禁止区域以外の安全な場所で行ってください。
- 適切な音量でお聞きください。運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度の音量でご使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となることがあります。
- ラジオやTV、FM多重の受信については、アンテナの位置が刻々と変わるために電波の強さが変わったり、障害物や電車、信号機などの影響により良好な受信状態を維持することが困難な場合があります。
- 万一異常が発生したときは、お買い求めのHonda販売店へご相談ください。
- バッテリー交換のときなど当商品への電源供給が止まると、メモリーした内容は消えてしまいます。
- 表示用のディスプレイは、日差しの角度によっては反射光などで見えにくくなることがあります。
- 本機の近くで強力な電気的ノイズを発生する電装品を使用すると、画面が乱れたり、雑音が入る場合があります。このような場合は、原因と思われる電装品を遠ざけるか、ご使用をお控えください。
- 目的地(自宅)への案内は、道路の状況やナビゲーションシステムの精度により、不適切な案内をすることがあります。必ず、実際の交通規制に従って走行してください。
- 機器内部に水や異物を入れないでください。万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなど異常が起こったら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げのHonda販売店に相談してください。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因になります。
- 操作パネルの開閉時または静止時に無理な力を加えたり、異常な使用をしないでください。
- 操作ボタンや液晶表示部に強い衝撃を加えると、破損や変形など故障の原因になります。
- 操作パネルが閉じるときに、指や異物などの障害物がある場合は、安全機構がはたらいて、自動的に止まります。操作パネルを再び動作させるには、障害物を取り除いた後、▲(TILT)を押してください。
- 操作パネルを傾けた状態でトレーの代わりに使用しないでください。また、操作パネルに衝撃を加えたりすると破損、変形などの故障の原因となります。
- 操作パネルの液晶表示部表面は傷つきやすいので、硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。
- お飲み物や、雨の日の傘などからの水滴で濡らさないでください。内部回路の故障の原因となります。

- 操作パネルの角度を調整するときには、液晶表示部を手で押さえたり、荷重を加えないでください。故障の原因となります。
- 寒冷時にエンジンスイッチをⅡ(ON)にした後、バックライトの特性上、光ムラが発生したり輝度が低下して画面が暗くなる場合があります。しばらくすると自然にもの輝度に戻ります。
- 本機がぬれたり、本機の中に水が入ったりしないようにご注意ください。火災や感電の原因となります。
- ディスプレイの収納や角度調整時に、手や指を挟まないようにご注意ください。けがの原因になることがあります。
- 長時間ご使用にならないときは、ディスク／SDカードを取り出しておいてください。長時間、本機内に入れておくと、高温等のためにディスク／SDカードを傷める原因となることがあります。

外部接続機器(USB機器／Walkman／iPod／VTR機器／携帯電話)について

- USB機器／Walkman／iPodを車室内に放置しないで下さい。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- USB機器／Walkman／iPodが接続されているときに、USB機器／Walkman／iPodの上に乗ったり、物を上に置かないで下さい。故障の原因となります。
- 接続するVTR機器／携帯電話を車室内に放置しないで下さい。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

Hondaスマートキーの動作について

Hondaスマートキーが装着されている車両では、Hondaスマートキーをナビゲーション本体に近づけると動作しなくなる場合がありますので、十分にご注意ください。

地上デジタルテレビ放送の番組受信について

- 地上デジタルテレビ放送では受信状態が悪くなると、映像にブロックノイズが出たり、音がとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- 車で移動して受信するため、家庭用デジタルチューナーに比べて受信エリアが狭くなります。また、車の周辺の環境などにより受信状態が変化します。
- 本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器など(パソコンや携帯電話など)を車内に使用したり、本機や地上デジタルテレビ放送用アンテナやアンテナコードに近づけると、映像・音声などに不具合が発生する場合があります。それらの機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。
- 電車の架線、高圧線、ラジオ・テレビ放送の送信所、無線送信所、ネオンサインなどの放電機器の近くで受信すると、映像・音声が乱れたり雑音がはいる場合があります。
- 車の走行速度によっては映像・音声が乱れたり、受信できなくなる場合があります。また、停車中でも周囲の車の動き等により受信状態が悪くなり、映像・音声が乱れる場合があります。

以下の点にご注意ください。

- 本機は、ロヴィコーポレーションならびに他の権利者が保有する、米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はロヴィコーポレーションの認可が必要であり、ロヴィコーポレーション認可なしでは、一般家庭用または他のかぎられた視聴用だけに使用されるようになっています。改造または分解は禁止されています。
- メールなどの地上デジタルテレビ放送に関する情報は、本機に記憶されます。万一、本機の故障、不具合によって、これらの情報が消失した場合でも補償はできません。
- 本機はARIB(電波産業会)規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- ビデオデッキなどで録画・録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。
- JBlendは株式会社アリックスの登録商標です。
- 本機搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しております。
This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
- 本機に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳、翻案、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行なつたり、それに関与してはいけません。
- 本機を法令により許されている場合を除き、日本国外に持ち出してはいけません。

タッチパネル

画面をタッチすることでナビゲーションを操作することができます。

Quick機能

よく使う機能をQuick MENUに追加することができます。表示する順番も選べ、使いやすいQuick MENUに設定できます。

☞ 「Quick MENUの設定をする」B-21

ナビゲーションとオーディオモード同時起動(使用)可能

ナビゲーションしながら音楽を聞いたり、テレビやDVDビデオ画面を表示中に音声案内を割り込ませたりすることができます。

☞ 「ナビゲーション画面から他のモードに替える」H-5

☞ 「ナビゲーション画面を表示したままで音楽を聞く」H-6

目的地を選ぶだけで行き方を表示

目的地を指定すると、探索されたルートを表示して案内します。目的地は地図上で直接指定したり、施設の名前や種類から絞り込んで探すこともできます。

☞ 「現在地から目的地までのルートを探索する」B-27

また、あらかじめ自宅を登録しておくと、現在地から自宅までのルートを表示して案内します。

☞ 「自宅を登録する」B-22

☞ 「現在地から自宅までのルートを探索する」B-28

電話番号や住所から目的地を検索

電話番号または住所を入力して、地図ソフトに収録されているデータから目的地を探すことができます。電話番号は、NTTタウンページの情報の一部(約850万件)および(株)ダイケイのテレデータ(個人宅情報 約3,000万件)が収録されています。住所は、約3,500万件収録されています。

※タウンページは東日本電信電話株式会社・西日本電信電話株式会社の登録商標です。

※個人宅の場合は、電話番号登録者の名字の入力が必要です。

☞ 「電話番号で地点を探す」C-6

☞ 「住所で地点を探す」C-8

ハイブリッド検索

名称(施設50音)で「50音順」「距離順」に並び替えたり、「地域」「名称」「ジャンル」のキーワードで施設を絞り込んで探すことができます。

【△】「施設の名称(名称50音)で地点を探す」C-2

**ビルの中の店舗を探す(テナント情報)**

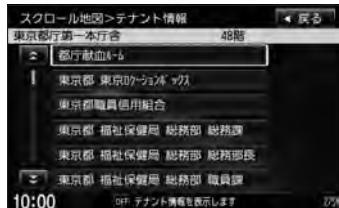
市街地図(10m／25m／50m／100m)から、ビルの中のテナント情報を確認することができます。

施設(物件)にカーソルを合わせると、地図画面下にビル名が表示されます。【設定】をタッチして、設定メニューを表示させ、【テナント情報】をタッチするとテナント情報を見ることができます。

【△】「Quick機能について」B-18

※データが収録されていない施設(物件)はカーソルを合わせても名称は表示されません。

※ビル名のみ収録されている場合は施設の詳細情報を見ることはできません。

**目的地到着までのルートを表示してくれる****目的地に着くまでルート表示(細街路探索)**

細街路(日本全国)を含めたルートの探索を行ないます。

的確でわかりやすく、音声で案内(音声案内)

交差点の名称、高速道路の出入口、路線名、JCT、渋滞／規制情報などを音声で案内します。

高速道路のジャンクションを拡大表示する(JCTビュー)

高速道路の主要分岐ポイントや、JCT、ランプの出口に近づくと、立体的な拡大図を表示してルートを案内します。

【△】「案内画面の設定をする」F-8



行き方の候補を5種類表示(複数ルート探索)

目的地までのルートを、違った条件で探索して表示します。

自動(推奨ルート)探索する場合、有料道路を優先する場合、一般道路を優先する場合、距離を優先する場合、道幅を優先する場合の5種類の条件で一度に探索します。

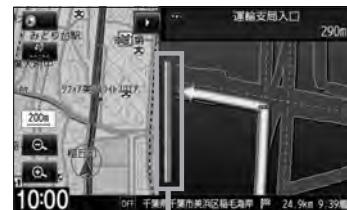
【☞】「複数ルートを探索する」F-9



進行方向の車線区分を案内する(レーンガイド)

案内する交差点に近づいたとき、交差点の拡大図を表示し、曲がる方向のレーンを黄色で表示させることができます。

【☞】「案内画面の設定をする」F-8



※バーの長さが短くなることによって交差点までの残距離の目安を表します。

交差点の名称を表示(交差点情報)

走行中に次の交差点で曲がる方向のレーンを矢印で表示し、交差点情報を表示させることができます。

【☞】「案内画面の設定をする」F-8



案内標識を表示(方面看板)

国道をはじめとした一般道の行き先や方向を示す案内標識(看板)を表示させることができます。(全国の主要交差点)

【☞】「案内画面の設定をする」F-8

※すべての交差点において収録されているわけではありません。



ナビゲーション

リアル3D交差点を表示(シティリアル交差点拡大)

ルート案内時、交差点を立体的(リアルデザイン)に案内します。(札幌・仙台・さいたま・千葉・東京23区・横浜・川崎・新潟・静岡・浜松・名古屋・京都・大阪・堺・神戸・岡山・広島・福岡・北九州の中心部の一部交差点)
Q 「案内画面の設定をする」F-8
※すべての交差点において収録されているわけではありません。



詳しい交通情報を教えてくれる

VICS 対応

文字、図形、地図表示で渋滞情報サービスを受けることができます。
別売のVICS光・電波ビーコンユニットを接続すれば、ビーコンのVICS情報を見ることができます。
Q 「交通情報(VICS情報)／一般情報の受信について」E-6

統計交通情報

日時・曜日を指定して過去のVICS渋滞統計データから渋滞予測地図を表示することができます。

一方通行規制箇所がわかる

一方通行表示

10m／25m／50mの市街地図表示のとき、一方通行の規制を道路上に表示します。

町並みをリアルに表示してくれる

遠くまで見渡せる視点で立体的に表示

上空より進行方向前方を見下ろす角度で、現在位置周辺を表示(3Dビュー)します。
Q 「地図表示(方位)を切り替える」B-11

住所エリアを色分けした地図表示

都道府県や市区町村などの境ごとに色分けして表示します。

自律航法^① & マップマッチング^②

自律航法とマップマッチングで、GPS衛星電波の誤差によって起こる実際の現在地と地図上の現在地とのズレを少なくします。また、GPS衛星電波が受信できなくなったときも、自律航法とマップマッチングで、自車マークの位置を補正します。

* ①印…本機に内蔵のジャイロセンサーで車の移動方向を判断し、車から得た車速パルスから車の走った距離を算出することにより、現在地を割り出します。

* ②印…測位した現在地が道路上にない場合に、地図ソフトに収録されている情報を利用して、自車マークを近くの道路上に表示させる機能です。

ナビゲーション

パソコン連携(いつも NAVI)

パソコンの指定Webサイト(いつも NAVI)を使用して、SDカードに保存した地点を確認したり、パソコンから保存したルートを本機で再探索することができます。またSDカードに保存した地点を本機に登録することもできます。

本機に同梱のパソコン連携(いつも NAVI)用IDとパスワードの無料使用有効期限は2013年3月31日です。

☞「パソコン連携(いつも NAVI)」A-27

その他の機能

エコドライブ

GPSの信号や車速情報を基に、運転中の加速、減速、速度、アイドリング時間を計算し、「急加速」、「急減速」、「長すぎるアイドリング」などを検知するとチャイムを鳴らし、メッセージを表示してお知らせします。また、計算データを5段階評価したり、グラフで表示することもできます。

☞「エコドライブ情報の設定をする」E-32

地上デジタルテレビ

☞オーディオ編(別冊)

地上デジタルテレビ放送とワンセグ

本機に内蔵の地上デジタルテレビ放送用チューナーで、地上デジタルテレビ放送を受信できます。ドライブ先の天気予報や交通情報などのデータ放送を表示したり、番組表から今放送中の番組を選局することもできます。また、携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」も見ることができます。

12セグ／ワンセグ自動切替機能

お車の受信状況によって12セグ放送とワンセグ放送を自動で切り替えることができます。

Music Rack

☞オーディオ編(別冊)

Music Rack機能

大容量のハードディスクを搭載し、音楽CDを再生と同時に録音できます。Gracenoteデータベース収録によりタイトル情報を自動付加できます。編集機能によりタイトル名の変更も可能です。お気に入り登録によりあなただけのプライベートアルバムも作成できます。また、録音したCDは自動で(アルバム／アーティスト／ジャンル／ミュージックエスコート)選曲モードに振り分けられるため、絞り込んだ検索が便利です。

DVDビデオ / CDラジオ

CPRM対応

本機では、DVD-R/RWにビデオレコーディングモード(VRモード)にて録画されたディスクが再生できます。さらに、デジタル放送などを録画したCPRM対応のディスクが再生できます。

マルチ音声機能

お好きな音声言語に切り替えて、お楽しみください。

※DVDビデオに収録されていない言語には切り替わりません。

マルチ字幕機能

お好きな字幕言語に切り替えて、お楽しみください。

※DVDビデオに収録されていない言語には切り替わりません。

マルチ.Angle機能

複数のアングルで収録されているDVDビデオの場合、好きなアングルに切り替えることができます。

演奏時間表示

トラック経過時間を表示することができます。

トラックリスト表示

トラックリスト画面を表示し、簡単な操作で聞きたい曲を再生することができます。

リピート機能

お気に入りの曲を、繰り返し聞くことができます。

ランダム(順序不同演奏)機能

演奏中のディスクのすべての曲を順序不同で演奏します。

道路交通情報

交通情報を受信することができます。

エリア選局

ナビゲーション画面の自車マークのあるエリアで放送されている放送局を呼び出すことができます。

手動選局

FMは0.1MHz、AMは9kHzずつ選局します。

自動選局

放送局を自動的に選局します。

プリセット機能

FM12局、AM12局をプリセットできます。

その他の 機能

ハンズフリー機能

携帯電話を持たなくても通話することができます。

☞別冊のオーディオ編 L-1

QQコール機能

QQコール タッチでQQコールセンターの電話番号と現在地のマップコードを表示します。オペレータに画面に表示されたマップコードを伝えて、緊急時の付近の病院の案内などを受けたりすることができます。

※ QQコール機能を利用するには、別途Honda販売店での入会手続きが必要となります。

リア席モニター対応

別売のリア席モニターに接続し、DVDなどの映像を映すことができます。

☞別冊のオーディオ編 M-10

VTRコード対応

別売のVTRコードを使用して市販のビデオカメラなどを接続し、本機で映像・音声をお楽しみいただけます。

☞別冊のオーディオ編 K-1

リアカメラ対応

リアカメラ標準装備車または本機に別売のリアカメラを接続している場合、車のセレクトレバーをリバースに入れると、自動的に画面がリアカメラの映像に切り替わります。リアワイドカメラ標準装備車または本機に別売のリアワイドカメラを接続しているときは、リアカメラ表示ビューを切り替えることができます。

☞ G-14

フロントカメラ対応

別売のフロントカメラを接続し、設定すれば、走行速度が低速になると画面をフロントカメラ映像にすることができます。

☞ G-20

コーナーカメラ対応

別売のコーナーカメラを接続し、設定すれば、走行速度が低速になると画面をコーナーカメラ映像にすることができます。

☞ G-20

オプションボタン選択機能

本機の【】(オプション)によく使う機能を設定することができます。

※別売のフロントカメラ/コーナーカメラを接続している場合はできません。

☞ G-3

ETC対応

別売のETC車載器(ナビ連動タイプ)を接続するとETC車載器(ナビ連動タイプ)の出力データをナビゲーション画面に表示することができます。

☞ G-9

VICSビーコン対応

別売のVICS光・電波ビーコンユニットを接続すると、より詳細な渋滞情報などビーコンの交通情報を取得することができます。

☞ E-29

USB対応

別売のUSB接続ジャックと別売のUSBメモリーデバイスコードをUSB機器に接続し画像ファイル／音楽ファイルの再生をすることができます。

☞ 別冊のオーディオ編 F-1

iPod対応

別売のUSB接続ジャック／別売のVTRコード／別売のiPod接続コードをお手持ちのiPod/iPhoneに接続し本機で音楽再生や映像再生などのデータを再生することができます。

☞ 別冊のオーディオ編 G-1

そ
の
他

SDカード対応

市販のSDカードを使用してJPEG画像を見る、または追加したり、音楽データを再生することができます。

☞ 別冊のオーディオ編 H-1

オーディオ リモコン スイッチ

車両標準装備または別売のスイッチを接続すれば運転中にハンドルに付いているスイッチでオーディオの操作をすることができます。

☞ 別冊のオーディオ編 M-8

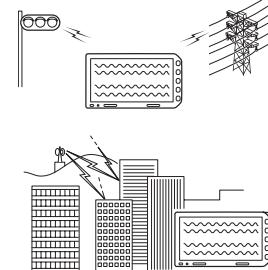
VGAモニター

高解像度(800×480ドット)により高精細なVGAモニターを使用しているので、美しく高画質な画面です。

広視野角液晶ディスプレイ

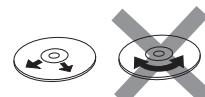
広視野角液晶ディスプレイを使用しているので、どの角度からでも美しい画面を見ることができます。

- バッテリー交換やヒューズ交換などでバッテリーとの接続が断たれたときは、メモリーしたチャンネルや音場、スピーカー仕様などの設定も全て消去されます。
- ラジオやテレビの受信は受信場所によって、電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。
 - 電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くやラジオ放送、アマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が乱れたり雑音がはいる場合があります。
 - 電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなることがあります。
 - トンネル内にはいったり、放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
 - 一部の地域において、ラジオ、テレビ等の送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、映像・音声に乱れが生じる場合があります。
- 本機で受信する場合は、家庭で受信する場合に比べると受信可能なエリアが狭くなります。
- 固定受信(ハイビジョン放送等)や携帯受信(ワンセグ)などの放送方式、放送局により、受信状態やエリアが変化します。
- ワイヤー、電動ミラー、エアコンのFANなどを動作させると受信感度が悪化する場合があります。



ディスクの取り扱い方

- 定期的に、記録面についてのホコリやゴミ、指紋などを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。



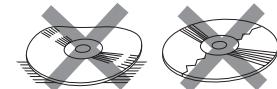
- ディスクを持つときは記録面をできるだけさわらないようにしてください。



- 印刷面や記録面にキズをつけないようにしてください。



- 車のエンジンスイッチをO(ロック)時にディスクを挿入しないでください。無理やり押し込むとディスクが傷ついたり、取り出せなくなるなど故障の原因になります。



- ディスクは使用中高速回転しますのでヒビの入ったディスクや大きく反ったディスクは使用しないでください。

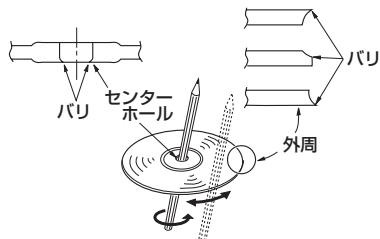


- 反らないように必ずケースに入れ、直射日光の当たる場所には保管しないでください。特に夏期、直射日光下で閉めきった車のシート、ダッシュボードの上などはかなり高温になりますので放置しないでください。



- レコードプレーヤー、帯電防止剤などは使用しないでください。また、ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品をかけるとディスクを傷めることができますので、使用しないでください。

- 新しいディスクをご使用になるとき、ディスクを入れても再生しない場合があります。これはディスクのセンターホールまたは外周にバリがあり、ディスクが正しくセットされないために発生するものです。この場合には右図のように、あらかじめボールペン等でバリを取り除いてからお使いください。



- 取り出した直後は、ディスクが熱くなっていることがあります。

取り扱いには十分お気をつけください。

※本機の読み取り性能およびディスクへの影響はありません。

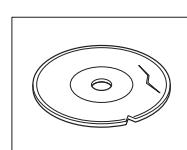
- すでにディスクが挿入されている状態で、2枚目のディスクを挿入しないでください。



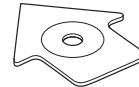
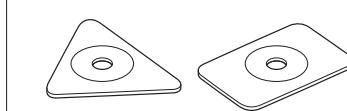
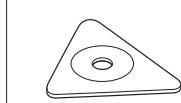
- 8cmディスクには対応していません。

- 特殊形状のディスクはご使用にならないでください。

三角形や四角形、矢印型など特殊形状のディスクや傷のついたディスクは再生できません。本機に使用しますと故障の原因になります。



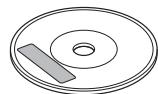
傷のあるディスク



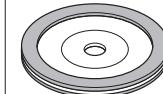
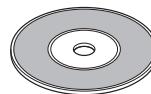
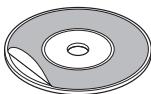
特殊形状のディスク

- ディスクのアクセサリーについて

音質向上やディスク保護用として市販されているアクセサリー(ディスクリング、保護シール)はご使用にならないでください。また、プリントラベル類や紙、ステッカーなどが貼られたディスクはご使用にならないでください。ディスクの厚さや外形寸法が変わったり、内部でステッカーなどがはずれたり、ディスクがそり、取り出せなくなるなど、故障の原因になります。



シール、ステッカー、プリントラベルが貼られたディスク



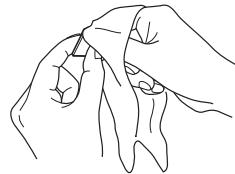
ディスクアクセサリー

- CD-R/RWディスクのご使用について

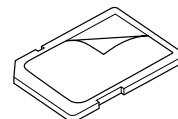
- ・ 市販のプリンターで作成したラベルなどを貼り付けたディスクはご使用にならないでください。
- ・ CDレコーダー(CD-R/RWドライブ)で記録したCD-R/RWは、その特性・汚れ・指紋・傷などにより、再生できない場合があります。
- ・ CD-R/RWは、通常の音楽CDに比べて高温多湿環境に弱いため、長時間の車内環境において劣化し、再生できない場合があります。
- ・ ディスクの取り扱いについては、ディスクの使用上の注意書きをよくお読みください。
- ・ ビデオCDは、再生できません。

SDカードの取り扱い方

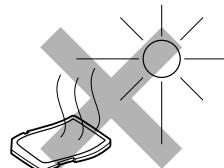
- 定期的にカートリッジの表面に付いたホコリやゴミなどを乾いた布で拭き取ってください。



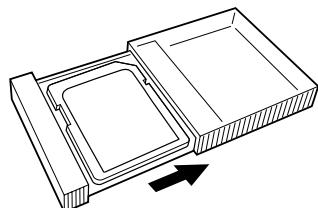
- ラベルがはがれたり、ネームテープ(ラベル)が貼つてあるSDカードは使用しないでください。



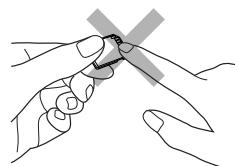
- 直射日光や湿気の多いところを避けて保管してください。
SDカードが使用できなくなる場合があります。



- 持ち運びや保管の際は、必ず収納ケースに入れてください。
※収納ケースは一例です。



- 端子部には、手や金属が触れないようにしてください。



- 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどはしないでください。



- SDHC ロゴは商標です。
- お客様が録音・録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。著作権の対象になっている画像やデータの記録された“SDカード”は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意ください。
- 本機にはSDカードは付属しておりません。
※それぞれの規格に準じた市販品をお買い求めください。
- 32GBまでの容量の“SDカード”に対応しています。
- 本機はSDXCカードには対応していません。
- 本機はUHS-Iには対応していません。
- フォーマット(初期化)について
SDカードのフォーマットは本機で行なってください。
□ 「データを初期化(消去)する」G-27
※初期化により消失したデータは元に戻せません。十分ご確認したうえで行なってください。
本機以外の機器で初期化した場合、本機で使用できない場合があります。本機で初期化を行なってから使用してください。
- miniSDカード／microSDカードを使用する場合は、必ずminiSDカードアダプター／microSDカードアダプターを使用し、正しい挿入方向をご確認ください。アダプターが装着されていない状態で本機に挿入すると、機器に不具合が生じことがあります。また、miniSDカード／microSDカードが取り出せなくなる可能性があります。必ずアダプターごと抜き、本機にアダプターだけ残さないようにしてください。
- miniSDカード／microSDカードをminiSDカードアダプター／microSDカードアダプターでご使用の際は正常に動作しない場合があります。
- microSDカードをminiSDカードアダプターに装着し、更にSDカードアダプターに装着して使用しないでください。
- SDカード挿入口に異物を入れないでください。SDカードを破損する原因になります。
- SDカードへのデータ書き込み中／読み込み中／本機にデータ転送中は抜かないでください。また、車のエンジンスイッチを変更しないでください。データが破損する恐れがあります。破損した場合、補償できません。
- 静電気や電気的ノイズを受けたり暖房器具の熱が直接あたる恐れのある場所に、SDカードを放置しないでください。データが破壊される恐れがあります。
- 本機内部を保護するため、異常が生じたときは自動的に本機の機能が止まります。
画面に表示されたメッセージにしたがって操作しても動かないときは、故障の恐れがありますのでお買い上げのHonda販売店にご相談ください。
- 本機はSDカードを使用して下記機能を使用することができます。
 - ・ 地点編集 □ 「SDカードで地点を探す」C-33
 - ・ ルート探索 □ 「SDカードからルート探索をする」D-29
 - ・ 地点登録 □ 「SDカードから地点を登録する」F-45
 - ・ Gracenoteデータベースのアップデート
□ 別冊の取扱説明書(オーディオ編)
「ローカルアップデート／カスタムアップデートをする」B-15
 - ・ 音楽・画像再生 □ 別冊の取扱説明書(オーディオ編)「SD(SDカード)」H-1
- ※対応可能なSDカードと再生につきましては別冊の取扱説明書(オーディオ編)「SDカードについて」H-9を参照してください。

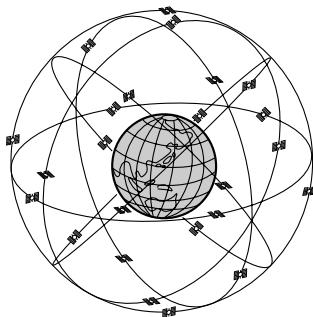
- SDカード内の大切なデータは、バックアップをとっておくことをおすすめします。
- 長時間ご使用になったあと、SDカードが温かくなっている場合がありますが故障ではありません。
- SDカードには寿命があります。長期間使用すると書き込みや消去ができなくなる場合があります。
- SDカードが不良の場合、正常に動作しない場合があります。
- SDカードの誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると、記録・消去・初期化ができなくなります。

※本書ではSDメモリーカード・SDHCメモリーカードのことをSDカードと記載しております。

GPS(Global Positioning System)について

地球の周り高度約21,000kmにGPS衛星が米国国防総省によって打ち上げられています。これは主として軍事利用のためですが、民間にもその利用が開放されており、このGPS衛星から送信された電波を利用して、現在地(緯度、経度、高度)を知ることができます。

※本機では高度は表示しません。



受信しにくい場所について

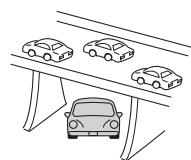
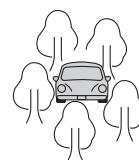
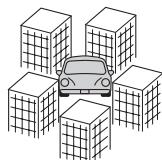
GPS衛星の電波は、付属のGPSアンテナで受信します。

GPSアンテナとGPS衛星との間に障害物があると、電波が受信しにくくなり、現在地の測位ができません。

受信に適した場所は、屋外の、電波をさえぎる障害物のない、見晴らしの良い場所です。受信しにくい場所は、以下のようなところです。



- トンネルの中
- 高層ビルに囲まれたところ
- 樹木の密集したところ
- 高速道路の下など



※同じ場所でも、次のような理由で受信数が変動します。

- GPS衛星は地球の周りを移動する周回衛星であり、時間によって位置が変わるために。
- GPS衛星の受信は、GPS衛星の周波数に近似した他の電波の影響を受けるため。
- 車内でご使用の電子機器(アマチュア無線機、レーダー探知機、ドライブレコーダー、ETC、本機以外のナビゲーションシステム等)の妨害、または一部の車種に使用されている断熱ガラス、熱遮断フィルム等により電波がさえぎられ受信感度が悪化したり受信しなくなることがあるため。

受信するまでの時間について

必ず見晴らしのよい場所で行なってください。

GPS衛星から測位に使用できる電波を受信すると、画面左上のGPS文字の色と方位表示の背景色が青色になり、測位した現在地を表示します。

本機を取り付け後または車のバッテリー等交換後、初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかつたときは、現在地を表示するまでに15~20分程度かかることがあります。(これはGPS衛星から送られる衛星の軌道データが12分30秒に1回送られているため、このデータの取り込みに時間がかかるためです。現在地を表示するまでは移動しないでください。)通常は電源を入れてから数分で表示します。

現在地の誤差について

GPSを使った測位では、約30m～200m程度の誤差があるため、実際の位置と地図に表示されている現在地の位置が一致しないことがあります。また、GPS衛星は米国国防総省によって管理されていますので、意図的に測定用電波のデータが変更されることがあり、このときは現在地表示の誤差も大きくなります。こうした誤差を補正するために、本機では、車速パルスとジャイロセンサーを利用した自律航法と、マップマッチング機能を備えています。

自律航法^{*1} & マップマッチング^{*2}

自律航法とマップマッチングで、GPS衛星電波の誤差によって起こる実際の現在地と地図上の現在地とのズレを少なくします。また、GPS衛星電波が受信できなくなったときも、自律航法とマップマッチングで、自車マークの位置を補正します。

* 1印…本機に内蔵のジャイロセンサーで車の移動方向を判断し、車から得た車速パルスから車の走った距離を算出することにより、現在地を割り出します。

* 2印…測位した現在地が道路上にない場合に、地図ソフトに収録されている情報をを利用して、自車マークを近くの道路上に表示させる機能です。

学習度と現在地

前述のように、本機はGPS衛星電波による測位のほか、ジャイロセンサーと車速パルスで正確な現在地を割り出すしくみになっています。

ナビゲーションは車に取り付けてから、実際の走行を重ねることでデータを蓄積し、次第に各種センサーの精度が向上していきます。

これを一般的に「学習度」と「学習度の向上」といいます。

「距離」「方位(左右方向の回転)」「傾斜」について学習度を上げるには、実際の走行によりますから、取り付けてしばらくの間は「学習度」の不足から現在地にズレが発生する場合があることをご承知ください。

音声案内の注意点

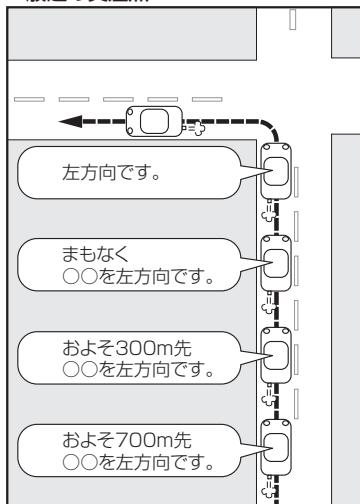
- 本システムの音声案内は、あくまでも補助的な機能ですので、実際に運転する際には、地図上のルート表示を確認の上、実際の交通規制にしたがって走行してください。
- 音声案内は、ルート上では方向が変わっていても、音声案内を行なわない場合があります。
- 音声の内容は、曲がる方向や他の道路との接続形態などにより、異なった内容になることがあります。
- 音声案内のタイミングは、遅れたり早くなったりすることがあります。
- 音声案内は、設定されたルート上を走行し始めてから行なわれますので、案内が開始されるまでは、地図上のルート表示を参考に走行してください。
- 細街区に進入すると「実際の交通規制に従って走行してください。」と音声案内します。
- 経由地に近づくと“まもなく経由地1付近です”と音声案内が行なわれ、次のルート区間の案内に移ります。このときも案内開始時と同様に、次の音声案内が行なわれるまでは、地図上のルート表示を参考に走行してください。
- 目的地に近づくと“目的地に到着しました。ルートガイドを終了します”と音声案内が行なわれ、音声案内(ルート案内)は終了します。そこから先は、地図を参考に目的地へ向かって走行してください。



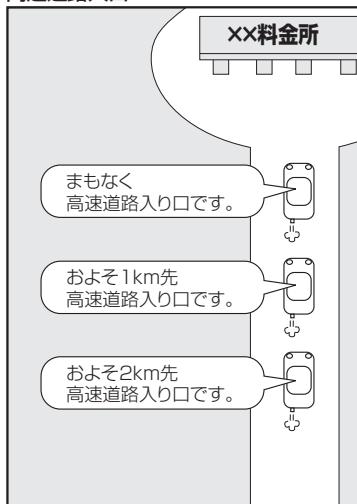
アドバイス

- 音声案内の音量を調整する場合は□「音声案内の音量調整／詳細設定をする」F-30をご覧ください。
- 音声案内は、実際の道路と地図ソフトの道路データの違いにより、異なった案内になることがあります。
- 音声案内の内容が現場の交通規則と違う場合は、現場の交通規制標識、表示などにしたがってください。
- 音声案内をもう一度聞きたい場合や、次の分岐点の情報を聞きたい場合□「現在地」を押すと、もう一度音声案内を聞くことができます。
- 「■ 音声案内を止める場合」F-30で「消音」を選択している場合は、□「現在地」を押しても音声案内を聞くことはできません。

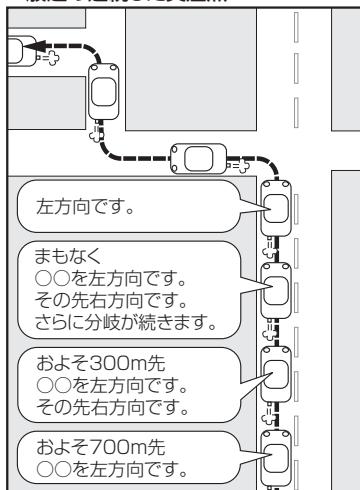
目的地までのルート案内時に、右左折する交差点などに近づくと自動的に音声で案内が流れます。

一般道の交差点^{*1}

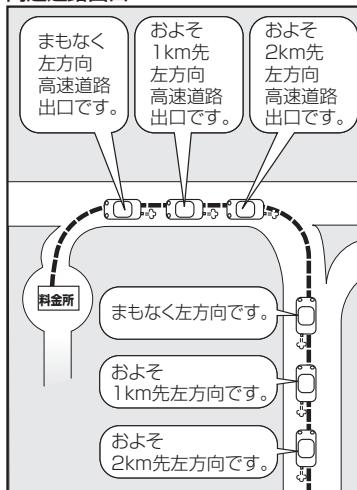
高速道路入口



*1印… 交差点名がある場合は、交差点名を音声案内します。

一般道の連続した交差点^{*2}

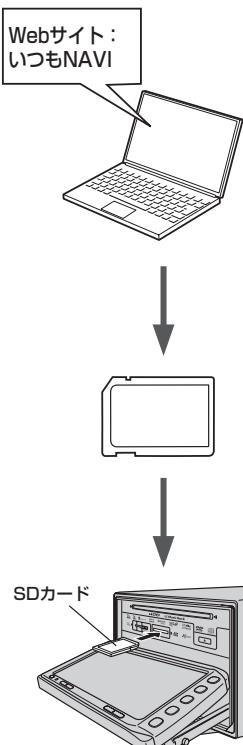
高速道路出口



*2印… 連続した交差点が三つ以上続く場合に案内します。

パソコンで指定のWebサイト(いつも NAVI)を利用して地点情報やルート探索した結果をSDカードに保存すると、本機で確認またはルートを再探索したり、本機に地点を保存することができます。いつも NAVI を利用するには、ユーザー登録を行なう必要があります。

パソコン連携(いつも NAVI)の流れについて



1. 指定のWebサイト(いつも NAVI)にアクセスして、別紙に貼り付けられているIDとパスワードを入力し、会員ログインします。

※初回ログイン時のミニックネームとメールアドレスを登録する会員登録画面が表示されます。必要事項を入力し、登録を完了すると、いつも NAVI の “My ページ” へ進めます。

2. ★Webサイト上で地点を選択したり、ルート探索をします。登録地点、登録ルートをSDカードを介してナビに保存できます。サイトの使い方についてはサイトのヘルプをご覧ください。

3. パソコンのSDカードリーダーにSDカードを差し込み、登録地点、登録ルートを保存します。

「カーナビへ送る」ファイルの作成

- ① SDカード内に半角で“DRIVE”という名前のフォルダを作成する。
- ② ★Webサイトの操作にしたがい、保存先とファイル名を確認し保存する。
- ③ SDカード内に作成した“DRIVE”フォルダ内にファイルを保存する。

4. SDカードを本機に差し込み、情報を確認または保存する。

- 「SDカードで地点を探す」 C-33
- 「SDカードからルート探索をする」 D-29
- 「SDカードから地点を登録する」 F-45



アドバイス

- ★印…詳しい操作方法は、いつも NAVI Web サイトの「ヘルプ」をご覧ください。
- SDカードを使用する前に□「SDカードについて」 A-21をご覧ください。
- SDカードに保存しているルートを本機で確認する場合、本機に設定している探索条件をもとにルート探索を行なうため、いつも NAVI 上でのルート探索結果と異なります。
 - 「SDカードからルート探索をする」 D-29
 - 「ルート探索条件の設定をする」 D-33
- いつも NAVI で出発地を本機と異なる位置に変更し、ルートをSDカードに保存しても本機でルート探索する場合は、出発地が現在地のままであります。(いつも NAVI で指定した出発地にはなりません。)
- いつも NAVI は、株式会社ゼンリンデータコムが運営するサービスです。画面は変更されることがありますので了承ください。
- Webサイトのアドレスは都合により変更させていただく場合があります。

会員ログインについて

- ログインは下記のURLから行なってください。
URL : <https://drive.its-mo.com/original/regist/b01/>
 - ログインには別紙に貼り付けられているIDとパスワードの入力が必要です。
有効期限まで無料でご利用いただけます。
本機に同梱のIDとパスワードの有効期限は2013年3月31日です。
有効期限後の運用については、Webサイトにてお知らせします。
 - ID、パスワードの再発行や追加発行はできません。
※ Webサイトのアドレスは都合により変更させていただく場合があります。

※ Web サイトのアドレスは都合により変更させていただく場合があります。



会員登録ID・パスワードを忘れた場合

いつも NAVI Web サイトの会員ログイン画面にあるリンクをご利用ください。

いつもNAVI Webサイト

URL : https://www.its-mo.com/login_drive-plan/pasreminder.htm

その他・お問い合わせ

詳しい操作方法は、いつもNAVI Webサイトの「ヘルプ」をご覧ください。

いつもNAVI Webサイトに関するご質問・お問い合わせは、株式会社ゼンリンデータコムまでお願ひします。お問い合わせ方法は、いつもNAVI Webサイトの会員ログイン画面にあるリンクをご利用ください。

いつも NAVI Web サイト

URL : <https://drive.its-mo.com/original/regist/b01/>

B

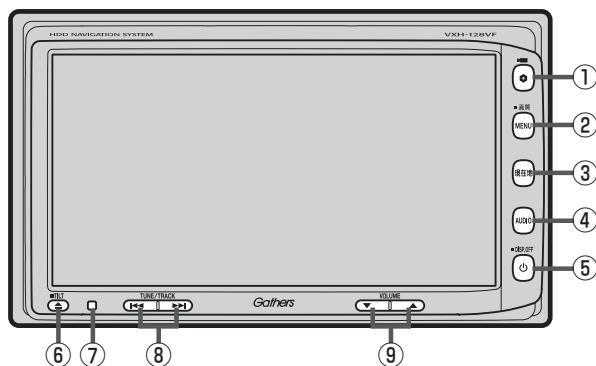
おぼえておきたい基本操作

おぼえておきたい基本操作

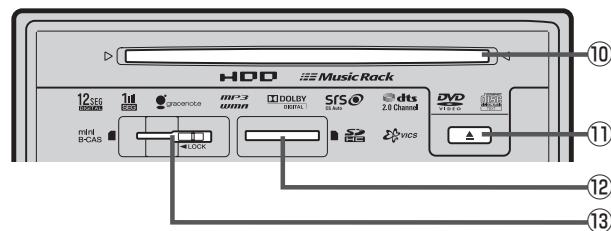
各部の名称とはたらき	B-2
パネル部 CLOSE状態	B-2
パネル部 OPEN状態	B-2
ボタンの照明について	B-3
ディスプレイ部の角度を調整する	B-4
ディスクを入れる／取り出す	B-5
SDカードを入れる／取り出す	B-6
地図を表示する	B-7
現在地表示について	B-7
地図画面の見かた	B-8
タッチパネル部について	B-8
画面の表示内容について	B-8
現在地を表示する	B-10
表示された現在地が実際の現在地と違う場合	B-10
地図表示(方位)を切り替える	B-11
地図スクロール(地図を動かす)	B-12
地図スクロール	B-12
微調整をする	B-14
地図を拡大／縮小する	B-15
NAVI MENU画面について	B-16
メニュー画面を表示させる	B-16
各メニュー項目について	B-16
設定を終える	B-17
ページの戻し／送りについて	B-17
Quick機能について	B-18
道路切替ボタンの機能について	B-18
Quick MENUを表示する	B-20
Quick MENUの設定をする	B-21
自宅を登録する	B-22
地点を登録する	B-25
登録地点について	B-26
クイック ルート探索をする	B-27
現在地から目的地までのルートを探索する	B-27
現在地から自宅までのルートを探索する	B-28
目的地を設定してルート探索をする	B-29
右画面に地図／情報を表示する	B-30
右画面の方位／縮尺スケールを変える	B-30
全画面表示に戻す	B-32
文字／数字の入力方法について	B-33
ひらがな／カタカナ／漢字／英数を入力する	B-33
数字を入力する	B-34
文字／数字を訂正する	B-35

B-2 各部の名称とはたらき

パネル部CLOSE状態



パネル部OPEN状態



①  ボタン(オプション／カメラ)

- 別売のフロントカメラ／コーナーカメラ映像画面を表示します。【B】G-22
- オプションボタン設定画面で選択した機能の操作をします。【B】G-3

②  ボタン

- メニュー画面を表示します。【B】B-16
- 長押しすると画質調整画面を表示します。【B】H-2

③  ボタン

現在地の地図を表示します。【B】B-10

④  ボタン

- AV SOURCE画面を表示します。
- 【B】別冊の取扱説明書(オーディオ編)A-10

⑤  ボタン

- オーディオ操作をON／OFFするときに使います。【B】H-6
- 画面を消すときに長押しします。【B】H-4

⑥  ボタン(TILT)

- ディスク／SDカード／miniB-CASカードを出し入れするときに押します。【B】B-5、B-6
- 画面の角度を調整するときに長押しします。【B】B-4

※オーディオに関するパネル部の説明につきましては【B】別冊の取扱説明書(オーディオ編)A-3をご覧ください。

ボタンの照明について

車のライトをONにすると、本機のボタンの文字(MENU、AUDIO)やボタン()、イラスト(、、、、、、)が点灯します。



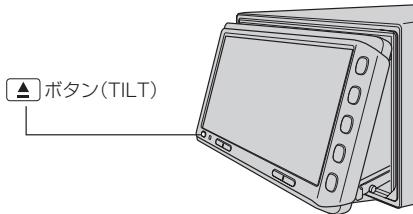
角度調整をするときは手や指などをはさまないように注意してください。
けがや、ディスプレイの故障原因になります。

1

▲ (TILT) を長押しする。(約0.7秒以上)

：ディスプレイ部が斜め上に1段階傾きます。

ボタンを長押しするごとに1段階ずつ傾きます。(全5段階)



アドバイス 角度調整をしても車のエンジンスイッチを0(ロック)にすると、ディスプレイ部は自動で閉じます(収納される)が、次回、車のエンジンスイッチをI(アクセサリー)またはII(ON)にすると、前回角度調整した段階でディスプレイ部が開きます。



ディスプレイ部を開閉するときは手などをはさまないように注意してください。けがや、ディスプレイ部の故障の原因になります。



お願い

- ・ディスクを挿入するときは、他のディスクが挿入されていないことを確認してから挿入してください。すでにディスクが挿入されていて2枚目を挿入しようとすると、ディスクにキズがつき故障の原因になります。
- ・ディスプレイ部を開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時に開いたディスプレイ部に体が当たったり、思わずぬけがをする恐れがあります。
- ・ディスクを出し入れするときには、安全のため、シフトレバーがディスプレイ部に当たらない位置で行なってください。

1

▲(TILT)を押す。

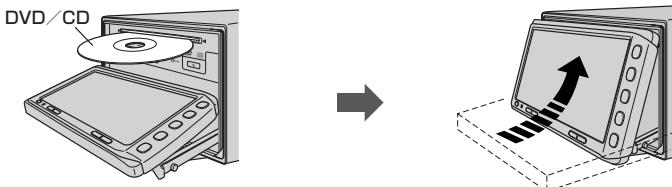
：ディスプレイ部が開きます。

2

■ ディスクを入れる場合

① ディスク挿入口にDVD／CDを挿入する。

：自動でディスプレイ部が閉じます。



※DVD／CDは印刷面を上にして挿入してください。

■ ディスクを取り出す場合

① ▲(イジェクト)を押す。

※ディスプレイ部を閉じる時は▲(TILT)を押してください。



アドバイス

- ・ディスクを取り出したときは、自動でディスプレイ部は閉じません。
- ・長時間で使用になった後ディスクが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- ・ディスクを挿入すると、自動でディスクの再生がはじまります。



ディスプレイ部を開閉するときは手などをはさまないように注意してください。けがや、ディスプレイ部の故障の原因になります。



お願い

- ・ディスプレイ部を開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時に開いたディスプレイ部に体が当たったり、思わずぬけがをする恐れがあります。
- ・SDカード挿入中に ▲ (TILT) を押さないでください。SDカードがディスプレイ部にはさまれ、SDカードの破損またはディスプレイの故障の原因になります。

1

▲ (TILT) を押す。

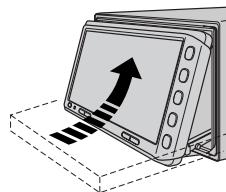
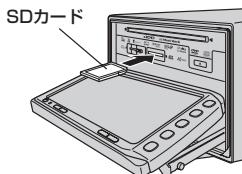
：ディスプレイ部が開きます。

2

■ SDカードを入れる場合

① SDカード挿入口にSDカードを差し込む。

：自動でディスプレイ部が閉じます。



※ラベル面を上にして矢印の方向に“カチッ”と音がするまで差し込んでください。

■ SDカードを取り出す場合

① SDカードを1回押して取り出す。

※ディスプレイ部を閉じる時は ▲ (TILT) を押してください。



アドバイス

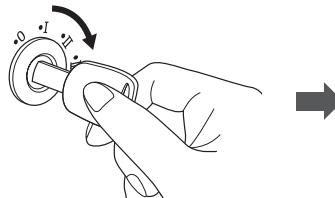
- ・SDカードを取り出したときは、自動でディスプレイ部は閉じません。
- ・長時間SDカードを挿入していると、SDカードが温かくなっている場合がありますが故障ではありません。

1

車のエンジンスイッチを I (アクセサリー) または II (ON) にする。

：起動初期画面が表示され、しばらくすると現在地画面が表示されます。

※エンジンスイッチを III (始動) にし、手をはなすと自動的に II (ON) に戻ります。



「あれ？ 画面がちがう…」

起動初期画面を表示した後、前回車のエンジンスイッチ OFF (ロック) にしたときに表示していたモードの画面になります。

ナビゲーション画面にするには、**【現在地】** を押してください。

GPS 受信表示

“GPS” 文字色 青色・方位表示の周りの色 青色
：現在地の測位ができる。

“GPS” 文字色 灰色・方位表示の周りの色 灰色
：現在地の測位ができない、または測位計算中。

測位計算中

現在地表示画面



自車マーク



アドバイス

- 画面の明るさを調整することができます。☞ 「映像の調整のしかた」 H-2をご覧ください。
- 現在地表示画面の見かたについては、☞ 「現在地を表示する」 B-10をご覧ください。
- GPS衛星電波が受信できない場合は、☞ 「GPS衛星の電波受信と測位」 A-23をご覧ください。

現在地表示について

- 本機では、GPS衛星からの電波を付属のGPSアンテナで受信することによって、現在地を測位します。

実際の現在地を表示してルート案内をするためには、必ずGPSアンテナを接続し、GPS衛星の電波を受信してください。

☞ 「GPS衛星の電波受信と測位」 A-23

☞ 「現在地を表示する」 B-10

- “GPS”的文字色または方位表示の周りの色で現在の測位の状態がわかります。“GPS”的文字色が灰色で、方位表示の周りの色も灰色の場合は、☞ 「GPS衛星の電波受信と測位」 A-23にしたがって、電波を受信してください。

- お買い上げ後、一度も現在地の測位ができない場合は、本田技研工業(株)本社付近を表示します。

GPS受信表示



地図画面の見かた

ナビゲーションシステムでは、操作するためのタッチボタンやいろいろな情報を地図画面に表示しています。

タッチパネル部について

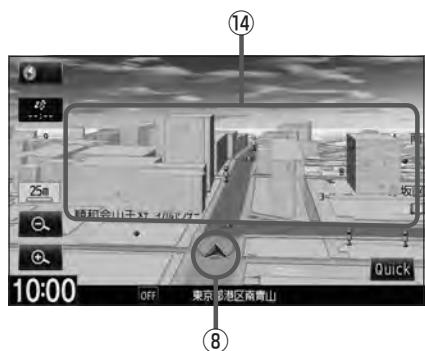


画面の表示内容について

平面地図画面(例)



3D地図画面(例)



① GPS受信表示

B-7

現在地の測位の状態を色で示します。

“GPS”文字色 青色・方位表示の周りの色 青色

：現在地の測位ができている。

“GPS”文字色 灰色・方位表示の周りの色 灰色

：現在地の測位ができていない、または測位計算中。

アドバイス 測位に時間がかかる場合があり、電源を入れてから約3～4分間はGPS受信表示が灰色のままのときがあります。

②縮尺スケール

地図のスケールを表示します。

B-15

③現在の時刻

④各種マーク表示

ECO : エコドライブを開始したときに情報バーに表示されます。 E-32

ETC : 別売のETC車載器を接続し、ETCカードを挿入すると表示されます。

BT : 本機にBluetooth対応の携帯電話を登録し、接続すると表示されます。

FM、**AM**、**CD**、**DVD**、**MR**、**USB**、**iPod**、**SD**、**DTV**、**VTR** : オーディオの各モード(FM、AM、CD、DVD、Music Rack、USB、iPod、SD、Digital TV、VTR)がONのときに表示されます。

OFF : オーディオの各モード(FM、AM、CD、DVD、Music Rack、USB、iPod、SD、Digital TV、VTR)がOFFのときに表示されます。

⑤周辺の住所(または道路名)・AUDIO情報

F-7

⑥目的地への残距離、到着予想時刻表示

ルート案内時に、目的地への残距離と到着予想時刻を示します。

⑦情報バー

⑧自車マーク

自分の車の位置(現在地)と進行方向を示します。

※設定により変更することができます。

F-23

⑨道路

道路の種類を色で区別しています。

青 色：高速道路、有料道路

赤 色：国道

緑 色：主要地方道、県道

灰色(太線)：一般道、細街路

灰色(細線)：細街路

青色(破線)：フェリー航路

アドバイス 道路色は“地図切り替え”で選択したボタンによって変わります。上記の色は“ノーマル”を選択したときの色を記載しています。

「地図の色を設定する」F-5

※灰色(破線)はルート探索できません。

※建設中などで、地図ソフト作成時点で未開通の道路は計画道路として表示されます。

⑩設定ルート

ルート探索を行なうと、探索されたルート(おすすめルート)がピンクまたはイエロー(設定による)で表示されます。探索されたルート上の有料道路は青色で表示されます。

F-9

⑪目的地方向表示

ルート設定時赤い直線で目的地の方向を表示します。

※お客様の設定によっては表示されません。 F-19

⑫交差点情報表示

交差点の名称と曲がる方向を矢印で表示します。

※お客様の設定によっては表示されません。 F-9

⑬盗難多発地点表示

盗難が多発している地点を色で区別し表示します。

最も盗難の危険が高い場合は赤色、次に盗難の危険が高い場合は黄色、盗難の危険が低い場合は青色で表示しています。(各府県によって基準は異なります。)
※お客様の設定によっては表示されません。 F-18

⑭立体アイコン

特定の建物を立体的に示します。

現在地を表示する

本機は、付属のGPSアンテナでGPS衛星からの電波を受信することによって現在地を測位し、マップマッチング機能と、車速パルスおよびジャイロセンサーを使った自律航法で、誤差を補正します。

1

現在地を押す。

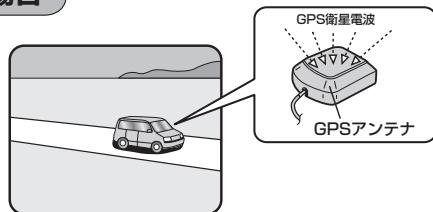
：現在地の地図が表示されます。

現在地表示画面



表示された現在地が実際の現在地と違う場合

GPS受信表示が青色の状態(GPS衛星電波を受信した状態)で、電波をさえぎる障害物のない見晴らしの良い場所を、一定速度でしばらく走行してください。GPS衛星電波、自律航法、マップマッチング機能を使って、現在地の位置が補正されます。



- アドバイス
- 現在地(自車)マークの位置／角度をご自分で修正することもできます。
 - 現在地から目的地までのルート探索をする前には、必ず、実際の現在地を表示していることを確認してください。
 - 現在地(自車)マークの位置や角度がまちがっている場合は、修正した後、ルート探索をしてください。
- 【参考】「現在地(自車)の位置を設定する」F-24
※GPSを受信すると、受信した位置を表示します。

地図表示画面をワンタッチで切り替えることができます。

画面には、“北方向を上”、“進行方向を上”、“3Dビュー”の3種類があります。

1 地図画面の 方位 をタッチする。

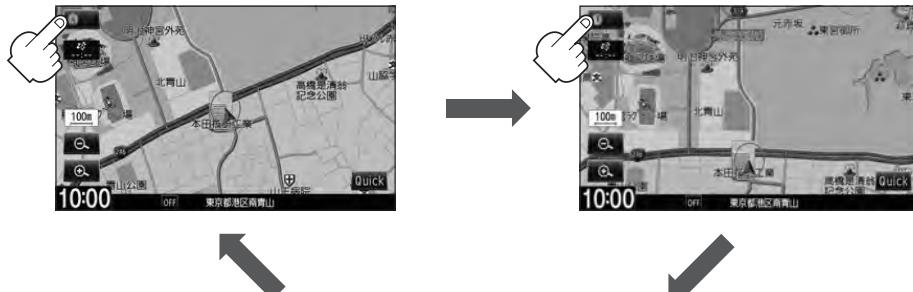
：タッチするたびに方位表示と画面が切り替わります。

「北方向を上」(平面地図)

地図の動きが気になるときは、北方向を上に固定できます。

「進行方向を上」(平面地図)

進行方向が常に上になるようにして、自転マークと画面の向きを一致させることができます。走行に合わせて地図が回転します。



「3Dビュー」

進行方向は常に画面の上方向になります。



- 地図表示(方位)の切り替えはNAVI設定からもできます。【[B-2「地図画面の設定をする」](#)】F-2
- 平面地図とは真上から地上を見たときのように表した地図画面です。
- 3Dビューとは上空から地上を見たときのように表した地図画面です。

3Dビューについて

- 3Dビューのときは、地図のスクロールが遅くなることがあります。
- 進行方向は常に画面の上方向になります。
- 画面の手前と奥で、道路や地名などの表示内容が異なります。
- 画面表示が煩雑(複雑)にならないように、文字表示を間引きしているため、画面が変わったときに文字の表示内容が異なったり、同じ文字の表示が行なわれなかつたりします。また、同一の地名、道路名を複数表示することもあります。
- 文字と建物がかさなり文字が見えにくくなる場合があります。

停車中、見たい地域の方向に地図をタッチしてスクロールすることができます。

地図スクロール

例 平面地図画面で現在地の地図をスクロールする場合

1

画面をタッチする。

：画面にカーソル(ーー)が表示されます。



2

地図をスクロールする。

■ 地図画面を低速でスクロールする場合

① 画面のカーソル(ーー)近くを動かしたい方向にタッチし続ける。

：低速でスクロールします。



■ 地図画面を高速でスクロールする場合

① 画面のカーソル(ーー)から離れた位置を動かしたい方向にタッチし続ける。

：高速でスクロールします。



アドバイス

- 現在地に戻るときは、[現在地]を押すか戻るをタッチします。
- 見たい場所を早く探すには広域な画面で目的地の周辺まで地図を移動させ、それから詳細な地図に変えて目的地を探します。
- 停車中は、地図をタッチし続けている間だけ移動します。
- 市街地図表示で走行中のときは、スクロールはできません。

例 3Dビュー表示画面で地図を動かす場合

1 画面をタッチする。

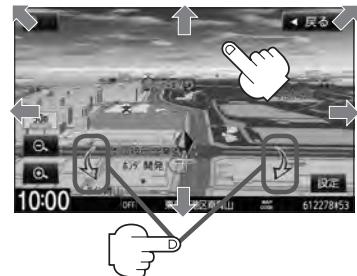
：カーソル(-/-)と↖/↗が表示されます。



2 動かしたい方向の地図画面、または↖/↗をタッチする。

↖：カーソル(-/-)を中心に右回転(時計まわり)します。

↗：カーソル(-/-)を中心に左回転(反時計まわり)します。



- アドバイス
- 地図はタッチした方向に動かすことができます。
 - カーソル(-/-)に近い部分をタッチすると低速で動き、カーソル(-/-)より遠くなると高速で動きます。
 - 3Dビュー表示画面で地図を動かした場合の自車マークは◆になります。



地図画面を平面地図画面↔3Dビューと切り替えるには□「地図表示(方位)を切り替える」B-11をご覧ください。

微調整をする

微調整は平面地図画面のみ行なうことができます。

※3Dビュー画面の場合は、平面地図画面にしてください。

☞「地図表示(方位)を切り替える」B-11

※走行中 **微調整** は選択できません。

1 画面をタッチし、**微調整** をタッチする。

：画面に が表示されます。



2 動かしたい方向の矢印をタッチする。

：動かしたい方向に一定の速度でスクロールされます。



アドバイス

以外をタッチしてもスクロールはしません。

地図を微調整する場合は動かしたい方向の矢印をタッチしてください。



3 **調整終了** をタッチする。

：スクロール画面に戻ります。



アドバイス

- 地図は矢印をタッチした方向に動かすことができます。

- 現在地に戻るときは、**[現在地]** を押すか **戻る** をタッチします。

地図を拡大／縮小する

B-15

1 地図画面で、 /  をタッチする。



縮尺スケール



100m

 : 広域(縮小)表示します。
 : 詳細(拡大)表示します。

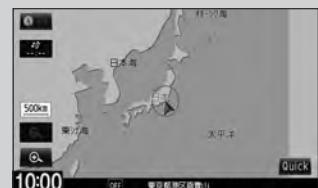
拡大(詳細地図)



 を
タッチ

 を
タッチ

縮小(広域地図)



1000



アドバイス

- 右画面に地図を表示している場合、右画面の地図を拡大／縮小するには、右画面の縮尺スケールをタッチして、同じように操作してください。☞ B-30
- 指定の縮尺の地図がないときは、“指定スケールの地図がありません。より広域の地図を表示します。”と表示し、選ばれた縮尺より広域な地図を表示します。
- 地図をフリーズームさせたいときは、 /  をタッチし続けます。お好みの縮尺スケールになったらタッチするのを止めてください。止めたところの縮尺スケールで止まります。
- 市街地図データの収録エリアは、☞ H-32をご覧ください。
- 市街地図(10m / 25m / 50m / 100m)表示のスケールの背景色は薄いオレンジ色、それ以外は白色で表示されます。
- 市街地図(10m / 25m / 50m / 100m)から、ビルの中のテナント情報を見るすることができます。施設(物件)にカーソルを合わせると、地図画面下にビル名が表示されます。設定をタッチし設定メニューを表示させ、テナント情報をタッチすると、テナント情報をることができます。(ビルの名前だけでなく、ビルの中のテナント名や階数、電話番号などの詳細情報を確認することができます。)
※データが収録されていない場合もあります。また、ビル名称のみ収録されている場合はテナント詳細情報を見ることはできません。
- ※電話番号が収録されている場合 電話する が表示されます。電話する をタッチすると、電話をかけるかどうかのメッセージが表示されるので [はい] を選択すると発信中画面を表示し、相手につながると通話中画面になります。(この機能を使用するにはBluetooth対応の携帯電話を接続する必要があります。) 携帯電話を接続していない場合、電話する は選択できません。(ボタンは暗くなります。)

メニュー画面を表示させる

ナビゲーションの操作のほとんどは、メニューを使って行ないます。

本書では、パネルに配置しているボタンを [ボタン]、画面に表示されるボタンを [ボタン] と表記して操作説明をしています。

1

[MENU] を押す。

: NAVI MENU画面が表示されます。



各メニュー項目について

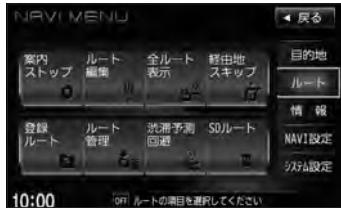
- [MENU] → [目的地] ➔ C-1



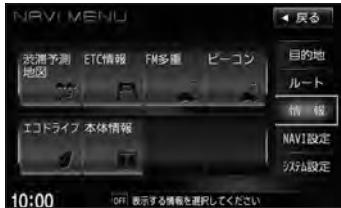
次へ を
タッチ
→
←
前へ を
タッチ



- [MENU] → [ルート] ➔ D-1

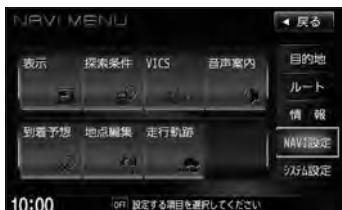


- [MENU] → [情報] ➔ E-1

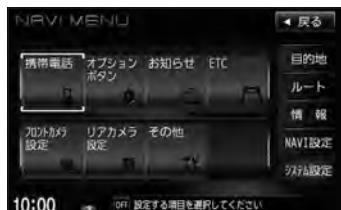


※ [ETC情報] は別売のETC車載器接続時に表示されます。
[ビーコン] は別売のVICSビーコンユニット接続時に表示されます。

- [MENU] → NAVI 設定 F-1



- [MENU] → システム設定 G-1



おぼえておきたい基本操作

※ **リアカメラ設定** は別売のリアワイドカメラ接続時に表示されます。

フロントカメラ / **コーナーカメラ** は別売のフロントカメラ / コーナーカメラ接続時に表示されます。

設定を終える

設定を終えるには下記操作を行ないます。

- 1 戻る をタッチ、または [現在地] / [MENU] を押す。

: 戻る をタッチすると、前の画面に戻ります。

[現在地] を押すと、現在地画面に戻ります。

[MENU] を押すと、メニュー画面に戻ります。



設定を変更するときに決定 が表示される場合は決定 をタッチして設定を保存してください。決定 をタッチしないで、[現在地] / [MENU] を押したり、戻る をタッチした場合は、設定を保存しないでそれぞれの画面に戻ります。

ページの戻し／送りについて

リストや情報画面などのページを送り／戻しすることができます。

- 1 ▲ または ▾ をタッチする。

▲ : ページを戻します。

▼ : ページを送ります。



走行中は規制がかかり、全てのページの送り／戻しはできません。



本機では、主な操作を簡単にするために、Quick機能(Quick MENU／設定メニュー)を設けています。QuickMENUを表示させるには **Quick** (現在地表示時)、設定メニューを表示させるには **設定** (地図スクロール時)をタッチします。

Quick をタッチ(現在地表示時)

・ **自宅へ帰る**

自宅までのルートを探索します。【**自**】「(現在地から自宅までのルートを探索する)」B-28

※この機能を使うにはあらかじめ自宅を登録しておく必要があります。【**登**】「自宅を登録する」B-22

・ **案内ストップ／案内スタート**

タッチするたびに、ルート案内ストップ↔スタートが切り替わります。

【**自**】「ルート案内をストップ／スタートする」D-10

※ルートが設定されていない場合、このボタンは選択できません。(ボタンは暗くなります。)

・ **渋滞予測回避**

過去のVICS渋滞統計データをもとに日時を指定してルート上の渋滞を予測して回避するルート探索をします。

【**自**】「渋滞予測ルート探索をする」D-27

※ルートが設定されていない場合、このボタンは選択できません。(ボタンは暗くなります。)

・ **再探索**

探索条件を変えて、再探索することができます。

【**自**】「再探索をする」D-31

※ルート案内を停止している場合、このボタンは選択できません。(ボタンは暗くなります。)

・ **地点を登録**

地点の登録を行ないます。【**登**】「地点を登録する」B-25

・ **周辺施設**

現在地の周辺施設を検索することができます。

【**自**】「周辺にある施設から地点を探す」C-17

・ **右画面表示**

右画面に表示する情報画面を選択します。(選択時表示点灯)

【**自**】「右画面に地図／情報を表示する」B-30



よくお使いになる機能を現在地表示時のQuick MENUに変更することができます。

【**自**】「Quick MENUの設定をする」B-21

道路切替ボタンの機能について

一般道または有料道を走行中に、本機が実際の走行道路と違う道路を走行していた場合に **道路切替** をタッチすると強制的に他の道路へと切り替わります。

※強制的に道路変更できるのは、一般道と有料道が近くにある場合のみです。必ず、ご希望の道路に切り替わるとは限りません。



有料道に切り替えた場合、正しい料金計算ができないため料金表示はされません。

アドバイス

設定をタッチ(地図スクロール時)

● 目的地セット

目的地を設定し、ルートを探索します。[「(現在地から目的地までのルートを探索する)」] B-27

● 出発地セット *

出発地を設定し、ルート探索します。[「(出発地／目的地の変更)」] D-11

※ルート編集画面で出発地の変更を行なう場合に表示されます。

● 経由地セット *

経由地を設定し、ルート探索します。[「(経由地の追加)」] D-14／「(経由地の変更／削除)」] D-16

※ルート案内を停止している場合、このボタンは表示されません。

● 複数探索

複数ルート探索を行ないます。[「複数ルートを探索する」] D-9

● 自宅セット *

自宅を登録します。[「自宅を登録する」] B-22

※自宅の登録を行なう場合に表示されます。すでに自宅が登録されている場合は表示されません。

● テナント情報

テナント情報(建物の名前だけでなく、建物の中のテナント名や階数、電話番号などの詳細情報)が確認できます。

※市街地図(10m／25m／50m／100m縮尺スケール)でテナント情報のある物件にカーソル(-|-)をあわせます。

● 地点登録

地点の登録を行ないます。[「地点を登録する」] B-25

● 地点編集

登録地点の編集や並び替え、削除ができます。[「登録地点の編集」] F-34／「登録地点の順番を並び替える」] F-39

／「自宅／登録地点を削除する」] F-43

※登録地点マークにカーソル(-|-)をあわせます。

● 周辺検索

スクロール先の周辺施設を検索することができます。[「周辺にある施設から地点を探す」] C-17

● 施設詳細

施設の詳細がある場合のみ情報が表示されます。

*印…地図をスクロールしなくても表示される場合もあります。

1

現在地表示時に **Quick** をタッチする。

：設定した項目が表示されます。

※走行中操作できないボタンまたは利用できない場合は暗くなります。



Quick MENUについては [「Quick機能について」](#) B-18もあわせてご覧ください。

アドバイス

Quick MENUの設定をする

B-21

よく使う機能を10個までQuick MENUに設定することができます。

おぼえておきたい基本操作

1 現在地表示時に Quick → Quick 設定 をタッチする。

：Quick MENU設定画面が表示されます。



2 右側の配置イメージより配置したい場所を選んでタッチする。

現在設定されているメニューの配置イメージが表示されています。



3 左側のメニュー候補より設定したい項目を選んでタッチする。



4 現在地の地図画面に戻るときは、[現在地]を押す。



- [解除]をタッチすると設定されているQuick MENUを解除します。
- [全解除]をタッチすると設定されているQuick MENUを全て解除します。
- Quick MENUの設定をお買いあげ時の状態に戻す場合は [標準]をタッチします。

Quick MENUに追加できる機能

- ①自宅(自宅へ帰る)
- ②渋滞予測回避
- ③地点を登録
- ④案内スタート／ストップ
- ⑤周辺施設検索(周辺施設)
- ⑥再探索
- ⑦住所検索(住所)
- ⑧電話番号検索(電話番号)
- ⑨ジャンル検索(ジャンル)
- ⑩登録地点検索(登録地点)

- ⑪目的地履歴検索(目的地履歴)
- ⑫郵便番号検索(郵便番号)
- ⑬ルート編集
- ⑭全ルート表示(全ルート)
- ⑮登録ルート
- ⑯道路切替 B-18
- ⑰VICS表示設定
- ⑱受信番組設定(受信番組)
- ⑲VICS文字情報(文字情報)
- ⑳VICS图形情報(图形情報)

- ㉑渋滞地点
- ㉒ETC情報
- ㉓登録地点編集
- ㉔地図表示設定
- ㉕ルート案内設定(ルート案内)
- ㉖カーマーク設定(カーマーク)
- ㉗エコドライブ情報(エコドライブ)
- ㉘音声案内
- ㉙右画面設定(右画面表示)

()内はQuick MENU表示時のボタン名

自宅を登録する

自宅を登録しておくと、自宅までのルートを探索することができます。

1

[MENU] を押す。

2

目的地 → **自宅** をタッチする。

：自宅を登録するメッセージが表示されます。



3

はい をタッチする。

：自宅登録方法画面が表示されます。



4

登録方法を選択し、タッチする。



- **現在地付近** : 現在地の地図を表示
- **出発地付近** : 出発地の地図を表示
- **目的地付近** : 目的地の地図を表示
- **名称** C-2
- **電話** C-6
- **住所** C-8
- **ジャンル** C-11
- **周辺施設** C-17
- **登録地点** C-23

- **履歴** C-25
- **地名** C-28
- **郵便番号** C-29
- **緯度経度** C-30
- **マップコード** C-31
- **地図から** : この画面に入る前の地図を表示
 C-32
- **SD** C-33

例 住所から自宅を探し登録する

- ① **住所** をタッチする。
- ② リストから画面にしたがって “都道府県名” “市区町村名” “町名” “丁目・字・街区・地番・戸番・枝番” を順次選びタッチしていく。

：自宅周辺の地図と設定メニューが表示されます。

(地図から) / 現在地付近 / 出発地付近 /
目的地付近 で探索した場合は、地図のみ表示されます。)

検索方法は【】「住所で地点を探す」C-9手順 ③ を参照。



10:00 DRI: 都道府県を選択してください 4件

地名の
頭文字表示*



- リスト画面右のひらがなは地名の頭文字です。頭文字をタッチすると、該当する地名が表示され、効率よく地域を絞り込むことができます。(入力できない文字は暗くなります。)
- *印…頭文字をタッチすることに選択している行のリストがくり返し表示されます。
- **地名入力** をタッチすると地名50音検索画面が表示され、地名を入力して効率よく場所を絞り込むことができます。【】「■ 地名を入力して探す場合」C-10
- リスト画面右の数字をタッチすると、該当する住所が表示され、効率よく場所を絞り込むことができます。
- 入力した住所を訂正したい場合は、戻るをタッチして、訂正したいリストまで戻してください。

5

自宅を登録する。

■ 表示された位置で良い場合

- ① **自宅セット** をタッチする。



■ 地図のみ表示された場合

- ① **設定** をタッチする。

：設定メニューが表示されます。

- ② **自宅セット** をタッチする。



自宅を登録する

■ 位置の修正やスケールの変更などをする場合

- ① 閉じる または地図画面をタッチする。
：設定メニューを閉じます。

- ② カーソル(ーー)を自宅に合わせる。

- ③ 設定 をタッチする。

：設定メニューが表示されます。

- ④ 自宅セット をタッチする。



微調整 ボタン

▷ B-14

：自宅が登録され、自宅までのルート探索をするかメッセージが表示されます。[はい] をタッチすると、現在地から自宅までのルート探索をします。[いいえ] をタッチすると、地図が表示されます。



- アドバイス
- 自動的にマークは~~○~~になります。マークを変更したい場合は▷ F-36を参照してください。
 - 登録地点の表示を[しない]設定にしている場合は、自宅を登録しても地図上にマークは表示されません。
▷「表示項目の設定をする」F-6
 - 自宅を変更したい場合は登録した自宅を削除してから再登録してください。
▷「自宅／登録地点を削除する」F-43

地点を登録する

覚えておきたい場所に、マークをつけて登録することができます。(最大300か所)

1

地図をスクロールさせて、マークをつけたい場所にカーソル(—)を合わせ、**設定**をタッチする。

：設定メニューが表示されます。

最も詳細な地図を選んでおくと、位置の誤差が少くなります。



2

地点登録をタッチする。

：“地点を登録しました。”とメッセージが表示され、地図上に地点マークが追加されます。



3

現在地の地図画面に戻るときは、**現在地**を押す。



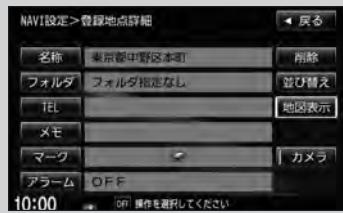
アドバイス

- SDカードに保存している地点を本機に登録する場合は「SDカードから地点を登録する」F-45をご覧ください。
- 登録地点は300か所まで本機に登録することができます。
- 地図画面をスクロールさせるには「地図スクロール(地図を動かす)」B-12をご覧ください。
- 地点を登録してルート探索した結果と、ジャンル検索でルート探索した結果が異なる場合があります。

登録地点について

登録地点の名称、マーク、フォルダ、アラーム、カメラ（別売のフロントカメラ／コーナーカメラ接続時）は変更することができます。また、TEL（電話番号）、メモを登録することもできます。

☞ 「登録地点の編集」F-34



登録地点の地図は、[MENU] → [目的地] → [登録地点] で、呼び出すことができます。

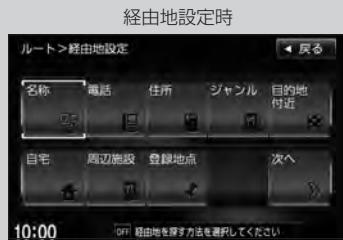
☞ 「登録地点で地点を探す」C-23

また、☞ 「自宅／登録地点の地図を呼び出す」F-41 でも呼び出せます。

ルート設定で出発地／経由地／目的地を設定するときに、

登録地点を使ってすばやくできます。

☞ 「ルート設定の流れ」D-4



地図上の登録地点マークは、[MENU] → [NAVI 設定] → [表示] → [地図表示設定] → [↓] 6回タッチ（“その他設定”ページを表示）→ 登録地点を表示を [しない] にすると、表示されません。

☞ 「表示項目の設定をする」F-6

自宅を登録しておくと、自宅までのルート探索（現在地から自宅までの参考ルートを探索する）ができます。

☞ 「Quick機能について」B-18

☞ 「（現在地から自宅までのルートを探索する）」B-28



クイック ルート探索をする

現在地から目的地までのルートを探索し、地図上に表示します。また、自宅が登録してある場合は、現在地から自宅までの帰り道を探索できます。

現在地から目的地までのルートを探索する

1

画面をタッチして地図をスクロールさせ、目的地の地図を表示する。

「地図スクロール(地図を動かす)」B-12／「地図を拡大／縮小する」B-15

2

カーソル(→)を目的地に合わせ、**設定**をタッチして設定メニューを表示させ、**目的地セット**をタッチする。

最も詳細な地図を選んでおくと、位置の誤差が少なくなります。



微調整ボタン

「ルート設定の流れ」D-4

参考ルートの探索を始めます。探索完了後全ルート表示画面になります。

(全ルートを表示しない設定にしている場合は、探索完了後、ルート案内を開始します。)

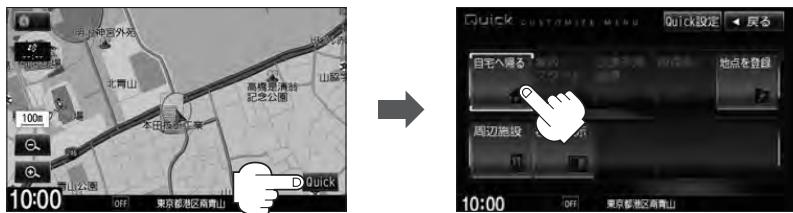
案内スタートをタッチすると、ルート案内を開始します。

「ルート設定の流れ」D-4

有料道路上に設定するかどうか確認メッセージがでたときは、有料道路(高速道路、都市高速道路を含む)上に設定する場合は**有料道路**を、一般道路上に設定する場合は**一般道路**をタッチしてください。

現在地から自宅までのルートを探索する

- 1 現在地表示中に Quick をタッチして Quick MENU を表示させ、
自宅へ帰る をタッチする。**



：ルートの探索を始めます。探索完了後全ルート表示画面になります。

(全ルートを表示しない設定にしている場合は、探索完了後、ルート案内を開始します。)

案内スタート をタッチすると、ルート案内を開始します。

【**「ルート設定の流れ」** D-4】

※すでに探索されているルートがある場合、ルートを削除するかどうかのメッセージが表示されるので **はい** を選択するとルート探索を開始します。



- アドバイス
- **（オプション）**に“自宅”機能を設定している場合は、**（オプション）**を押すと自宅までのルート探索をします。
 - 自宅までのルート探索をするには、あらかじめ自宅を登録しておく必要があります。自宅が登録されていない場合、上記手順 **1** で自宅を登録するかどうかメッセージが表示され、**はい** を選択すると自宅登録方法画面が表示されるので、自宅を登録してください。
【**「自宅を登録する」** B-22】
 - 新たにルート探索すると、前回探索したルートは消えます。
 - ルートは必ずしも、最短ルートが選ばれるわけではありません。
 - **Quick** / **設定** (Quick MENU) の詳しい内容は【**「Quick 機能について」** B-18をご覧ください]。



お願い

交通規制の変更などにより、実際には探索したルートが通れない場合があります。

この場合は、実際の交通規制にしたがって走行してください。

目的地を設定してルート探索をする

目的地を検索して、ルートを探索することができます。

1

[MENU] を押す。

：NAVI MENU画面が表示されます。



2

目的地をタッチする。

：目的地 MENU画面が表示されます。

3

検索方法を選択する。

□ 検索方法につきましてはC-1～C-33をご覧ください。



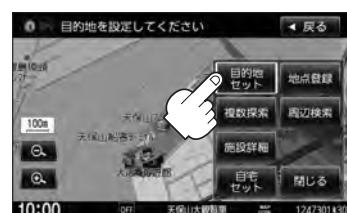
4

目的地セットをタッチする。

：ルートの探索を始めます。探索完了後、全ルート表示画面になります。

(全ルートを表示しない設定にしている場合は、探索完了後、ルート案内を開始します。)

※設定 MENU画面が表示されていない場合は、**設定**をタッチして表示させてください。



5

案内スタートをタッチする。

：ルート案内を開始します。



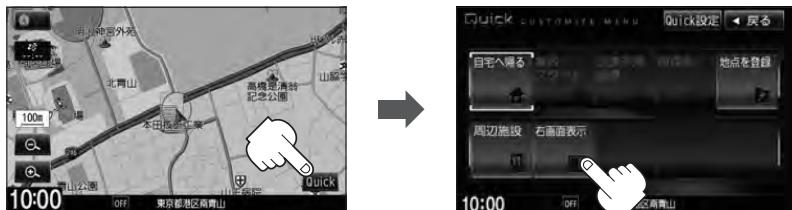
右画面に地図／情報を表示する

現在地表示時、画面を2つに分けて、右側に縮尺スケールの異なる地図やルート情報／ハイウェイモード／エコドライブ／時計を表示させることができます。

1

現在地表示時に、**Quick** → **右画面表示** をタッチする。

：右画面表示画面が表示されます。



2

表示項目(地図 / ルート情報 / ハイウェイモード / エコドライブ / 時計) を選択しタッチする。

■ 右画面に地図を表示する場合

① **地図** をタッチする。

：地図が2画面で表示されます。



アドバイス

- 右画面が表示されるまで、少し時間がかかることがあります。
- 左画面は、全画面表示のときと同じ方法で、地図の表示内容の設定や縮尺の変更ができます。
- デモ走行中は右画面地図表示↔全画面表示の切り替えはできません。
- 右画面地図表示はNAVI設定からも表示させることができます。[] 「地図画面の設定をする」F-2



右画面の方位／縮尺スケールを変える

右画面地図表示のとき、右画面の方位／縮尺スケールの設定を変えることができます。



■ 右画面にルート情報を表示する場合

① ルート情報をタッチする。

：ルート案内中にルート情報が表示されます。



アドバイス ルート情報表示はNAVI設定からも表示させることができます。

☞ 「■ ルート情報の表示を設定する場合」F-11



ルート情報画面

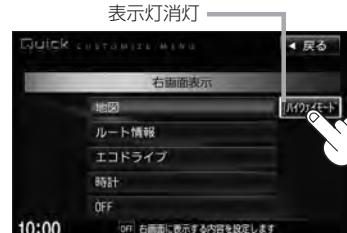


*

■ ハイウェイモードを解除したい場合

① ハイウェイモードをタッチする。

：表示灯が、消灯しハイウェイモード(高速道路／一般有料道路の情報)を表示しない設定になります。



アドバイス

- ハイウェイモードはNAVI設定からも変更することができます。

☞ 「■ ハイウェイモードの表示を設定する場合」F-11
 - ☞ 「■ 右画面にルート情報を表示する場合」(上記)で「ルート情報」を選択または、「ルート情報の表示を設定する場合」F-11で「ルート情報の表示」を「する」を選択すると高速道路／一般有料道路の情報も表示する設定になるため、「ハイウェイモード」を選択できなくなります。
 - ハイウェイモードを選択している場合、他の項目を選択していてもハイウェイモードを優先して表示します。
 - ハイウェイモードを表示する設定にしていても、ルートを引いてないと表示されません。
- * 印…経由地や各ポイントへの必要時間と距離を表示します。

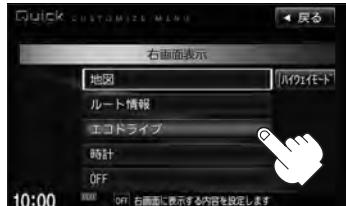
右画面に地図／情報を表示する

■ 右画面にエコドライブを表示する場合

① エコドライブをタッチする。

：アニメーション／走行速度・加速度インジケーター／走行速度・加速度履歴グラフが表示されます。（表示切替タッチで表示の切り替え）

 エコドライブ表示は情報からも表示させることができます。[[E-32](#)]「エコドライブ情報の設定をする」



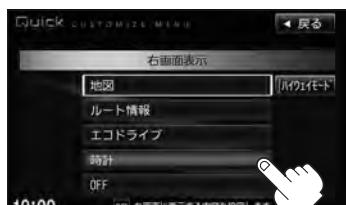
↓
エコドライブ



■ 右画面に時計を表示する場合

① 時計をタッチする。

：右画面に時計が表示されます。



全画面表示に戻す

- 1 B-30手順 1 にしたがって操作し、手順 2 のとき OFF をタッチする。



文字／数字の入力方法について

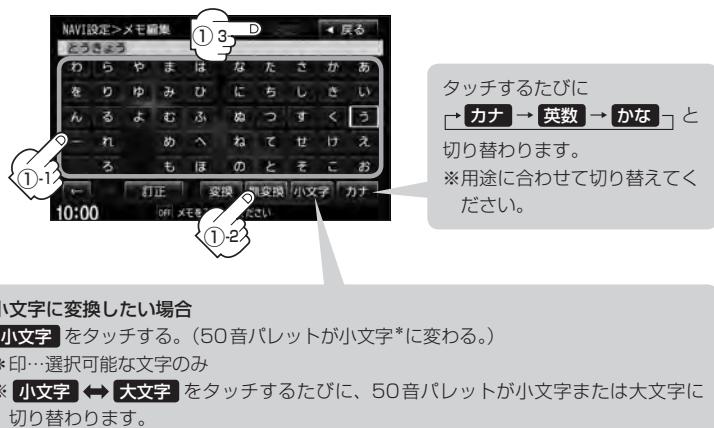
B-33

目的地を施設の名称や電話番号などで探すときや、登録地点の編集などをするときに、文字や数字を入力します。

ひらがな／カタカナ／漢字／英数を入力する

■ ひらがなを入力する場合

- ① 文字をタッチして入力し、**無変換** → **決定** をタッチする。



上記の説明は登録地点編集([図 F-34])をする場合の編集画面です。目的地検索でひらがな入力をする場合、表示されるボタンが異なります。

■ 漢字を入力する場合

ひらがなを漢字に変換します。

- ① 文字をタッチして入力し、**変換** をタッチする。

変換候補画面が表示されます。



- 漢字変換しない場合は**無変換**をタッチしてください。
- ← / → をタッチして変換する文字の範囲を選択することができます。
- [] をタッチすると1文字分のスペースを空けることができます。
- 目的地検索では漢字を入力することはできません。



② 変換したい漢字をタッチし、**決定**をタッチする。

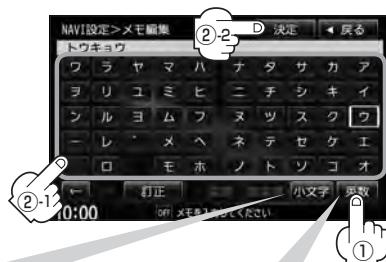


■ カタカナ／英数を入力する場合

① **カナ**／**英数**をタッチする。

：50音パレットがカタカナ／英数表示になります。

② 文字をタッチして入力し、**決定**をタッチする。



小文字に変換したい場合

小文字をタッチする。(50音パレットが小文字*に変わる。)

*印…選択可能な文字のみ

※ **小文字** ↔ **大文字**をタッチするたびに、50音パレットが小文字または大文字に切り替わります。

タッチするたびに

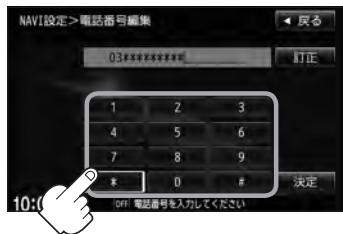
カナ → **英数** → **かな**と

切り替わります。

※用途に合わせて切り替えてください。

数字を入力する

1 数字をタッチして入力する。



設定を変更するときに**決定**が表示される場合は**決定**をタッチして設定を保存してください。**決定**をタッチしないで、**現在地**／**MENU**を押したり、**戻る**をタッチした場合は、設定を保存しないでそれぞれの画面に戻ります。

文字／数字を訂正する

■ 最後の文字を訂正する場合

- ① **訂正** をタッチする。

■ 全ての文字を訂正する場合

- ① **訂正** を長めにタッチする。

■ 途中の文字を訂正する場合

- ① **←** / **→** をタッチし、訂正したい場所へカーソルを移動する。

- ② **訂正** をタッチする。



